

Urban Safari

[アーバンサファリ]

日之出出版

Sep.2025 Vol.50

Cover Story

ピアース・ブロスナン

Falling for a Timeless Jacket.
ジャケットに焦がれて。





Cartier





GIORGIO ARMANI

Contents

08 COVER STORY ピース・プロスナン

10 In Your CLOSET

14 待ち焦がれた秋、上質なジャケットを1着。

31 Gastronomic City Oita

34 Osaka's New Luxury Chapter

44 ふたりの時間を彩る大人のための上質アイテム。

46 Urban GOLF STYLE

48 ECONOMY BEYOND

51 進化するブックストア

55 ACTIVE WELLNESS

Thomas Vidal

トマ・ヴィダル／アンダーズ 東京総支配人

文=山口幸一

text: Koichi Yamaguchi

映画監督のように才能を束ね、ワン&オナリーの体験を創造する。

2025年8月、ラグジュアリー ライフスタイルホテル〈アンダーズ 東京〉の総支配人に就任したトマ・ヴィダル。フランス出身の彼は、アジア各国で15年以上のキャリアを積み、〈W大阪〉ではミシュランキーの獲得に加えグリーンキーの認証の取得に貢献。成功するホテル運営の秘訣について聞くと、興味深い比喩で答えてくれた。

「実は映画監督になりたかった過去があります」とヴィダル。「ホテル運営は映画製作と似ています。監督が映像、音響、俳優、美術を統合してひとつの作品を創り上げるように、総支配人は各部門の才能を束ね、ゲストにワン&オナリーの体験を提供するのです」。これの核となるのが、優秀なリーダーの配置だ。「まず各部門に、アンダーズというブランドを心から愛し、カルチャーを体現できるリーダーを置きます。完璧な人材はいませんから、彼らの成長をサポート

し、スキルを向上させる。そして明確な目標を共有することで、チーム全体が同じ方向を向けるのです」。さらに重要なのが多様性だという。「直属のチームには日本、フランス、スイス、アルゼンチン、韓国の出身者がいます。年齢や性別、文化背景の異なるメンバーが議論することで、無限のアイデアが生まれます。まとめるのは難しいこともありますが、その分、創造性に富んだソリューションが期待できます」。〈アンダーズ 東京〉には日本ソムリエ協会の常務理事を務めるソムリエ、著名なコンテストで優勝したミクソロジストなど、各分野のスペシャリストたちが揃う。「彼らの才能を統合し、お客様が自分らしく過ごせる空間を創る。映画監督のような視点で、『上質でありながらも型にはまらないホスピタリティ』というアンダーズの理念をいかに進化させられるか。それが私の目標です」



発行人
Publisher 成井 肇 Tsuyoshi Narui
編集長
Editor in Chief 伊藤雅信 Masanobu Ito
メディア事業部 部長 Media Dept. Director 伊藤隆寛 Takahiro Ito
メディア事業部 Media Dept. Staff 梅原孝介 Kosuke Umehara
田中愛望 Aimi Tanaka
メディア事業部 進行 Media Dept. Coordinator 吉田千晃 Chiaki Yoshida

アートディレクター
Art Director 藤澤拓也 Takuya Fujisawa (ANAGUMA)
デザイナー
Designer 渋江裕子 Yuko Shibue (ANAGUMA)

コントリビューティング・エディター&ライター
Contributing Editors & Writers 池上隆太 Ryuta Ikegami
遠藤 匠 Takumi Endo
大嶋慧子 Keiko Oshima
古関千恵子 Chieko Koseki
篠田哲生 Tetsuo Shinoda
柴田 充 Mitsuru Shibata
長谷川 茂雄 Shigeo Hasegawa
堀川博之 Hiroyuki Horikawa
中村孝則 Takanori Nakamura
八木悠太 Yuta Yagi
山口幸一 Koichi Yamaguchi
渡邊ひかる Hikaru Watanabe

●本誌掲載商品の価格表示はすべて税込み価格です。
●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。
●本誌の編集内容に関するお問い合わせは日之出版代表番号までお願いいたします。なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

株式会社日之出版
〒104-8505 東京都中央区築地5-6-10
浜離宮パークサイドプレイス7F
代表 ☎ 03-5543-2221
広告 ☎ 03-5543-1131

〈アンダーズ 東京〉

2014年にオープンした、ハイアットグループのラグジュアリー ライフスタイルホテル。〈アンダーズ〉はヒンディ語で「パーソナルスタイル」を意味し、旅慣れた顧客が求める自分らしい滞在体験を提供することをコンセプトとする。トマ・ヴィダルは1985年フランス生まれ。2006年の初来日後、札幌のグローバルなホテルからキャリアをスタート。名古屋、大阪、沖縄での勤務を経て、ベトナム、タイでも経験を積む。〈W大阪〉ではホテルマネージャーとしてミシュランキーの獲得やグリーンキーの認証などに貢献。2025年8月より〈アンダーズ 東京〉総支配人に就任。



PIERCE BROSnan

【ピアース・ブロスナン】

写真=AFLO 文=渡邊ひかる
photo by AFLO text : Hikaru Watanabe

PROFILE

1953年、アイルランド生まれ。アメリカのTVドラマ『探偵レミントン・スティール』でタイトルロールを演じ、スターに。『007』シリーズのジェームズ・ボンド役に抜擢され、『007／ゴーラデンアイ』『007／トゥモロー・ネバーダイ』『007／ワールド・イズ・ノット・イナフ』『007／ダイ・アナザー・ダイ』を放つ。ほかの出演作に『ミセス・ダウト』『トマス・クラウン・アフェア』『マンマ・ミーア！』など。今年は、Paramount+のドラマシリーズ『モブランド』やNetflix映画『木曜殺人クラブ』などでも注目を集めている。

映

画業界における一大関心事と呼ぶべきか、“次期ジェームズ・ボンドは誰が演じるべき？”の議論は、時代の移り変わりとともにいろいろな形で繰り広げられてきた。まさにここ数年は、ダニエル・クレイグが2021年公開の『007／ノー・タイム・トゥ・ダイ』を最後にボンド役からの卒業を表明したため議論が活発化。そのクレイグの前任にあたるこの人、ピアース・ブロスナンが5代目ボンドに就任した際も、もちろん耳目を大いに集めた。しかも、実を言うとブロスナンは、2度にわたってボンド役のオファーを受けた経緯を持つ強者ボンド。もともとは3代目ボンドのロジャー・ムーアから引き継ぐことを望まれたものの、当時主演していたTVドラマの契約に縛られてオファーは白紙に。それでも彼に思いを残していた『007』製作陣は、4代目ボンドのティモシー・ダルトンと2作を放った後、ブロスナンに再オファー。晴れてジェームズ・ボンドとなった彼は、1995年公開の『007／ゴールデンアイ』を皮切りに計4本の『007』シリーズを世に放ち、大ヒットに導きもした。

ワイルドなセクシーさがありながら、どこかエレガントでユーモラス。戦えば格好いいし、話すと茶目っ気が見え隠れして面白い。当たり役を得たからこそだろう。幸か不幸か、自身が作り上げたボンド像と、俳優ピアース・ブロスナンがイコールで語られることは多い。それは本人も承知の上だったようで、そんな中でもイメージとなるべく固定させないよう、ほかのアクション映画にサスペンス映画にと精力的に出演。10代で演技の魅力に目覚めて以来、ロンドンの演劇学校で培った表現力、さらには映画、舞台、ドラマと幅広いフィールドを渡り歩いてきた経験を存分に生かしていく。また、プレイボーイのボンドとは違い、ブロスナン自身が無類の愛妻家であるのも有名な話。ボンドとしてブレイクする以前の1991年、彼は約10年連れ添った女優の妻をガンで亡くしている。その後、2001年に現在の妻と再婚し、結婚生活20年を超えた今も仲睦まじいおしどり夫婦として幸せオーラを放つことに。ボンドの華麗な女性遍歴と自身の地に足のついた私生活のギャップも、ピアース・ブロスナンらしさとなっている。

そんな彼がボンドを卒業したのは、2002年全米公開の『007／ダイ・アナザー・デイ』を終えた後。

50代に突入したばかりのタイミングだった。スペインの世界にいったんの別れを告げてからは、ミュージカル映画で歌声を披露したり、エッジのきいたコメディ映画の住人となったり、『007』とは毛色の違うアクション映画でストントを披露したり。映画賞に縁の深いタイプではなかったが、『ザ・スナイパー』ではゴールデン・グローブ賞の主演男優賞にノミネートされ、『ゴーストライター』では“アイルランドのアカデミー賞”ことアイルランド映画テレビ賞の助演男優賞を受賞している。

こうして第2の俳優人生を駆け抜けてきたブロスナンも、現在は超ベテランの域に。9月26日から公開される『ブラックバッグ』でも、確かな存在感を放っている。鬼才スティーヴン・ソダーバーグが監督を務める同作で、ブロスナンが演じているのはベテランの諜報専門家。凄腕スパイ同士の駆け引きが展開するサスペンスの中に、組織を率いる重鎮として登場する。ジェームズ・ボンドが年齢を重ねてスパイ最前線から退き、幹部になったら？ なんてことを考えたくなる役柄だけに、ソダーバーグ監督は「ピアースが出演を承諾してくれて、とても嬉しかったです」と謝意を口に。ブロスナン自身も撮影を大いに楽しんだという。

「僕が演じたアーサー・スティーグリットは根っ

からの秘密情報部の男。高学歴で、どこかひねくれていて、道徳観には疑問符がつくけど、仕立てのよいスーツを着こなす。片方だけの腎臓と、途方もないエゴで生きているんだ。撮影現場は緊張感たっぷりで、初日の午前中にスティーヴンから『座る暇はないよ』と言われた。その日は6ページに及ぶシーンの撮影でね。とても長い1日になるだろうと思つたけど、午後3時には撮影が終わった。スティーヴンはまるで風のように動くし、僕はデヴィッド・コープの素晴らしい脚本に描かれたキャラクターを追っていくだけよかった」

ちなみに、アーサー・スティーグリットのスーツは〈ダンヒル〉によるもの。衣装担当者もブロスナンのフィルモグラフィーに敬意を払いながら、「ボンドはシングルブレストの男。一方、アーサーにはダブルブレストのスリーピースがよく似合う。伝統的なプリンス・オブ・ウェールズ・チェックとクラシックなピンストライプのね。スーツとピアースの見事な銀髪が、ボンドとの違いを際立たせました」と明かす。もちろん、本人もスタッフの意欲とこだわりを感じていたことだろう。ボンド時代の栄光もスマートに受け入れながら、新たな挑戦もエネルギーに楽しむ。それが70代、ピアース・ブロスナンのスタイルのようだ。



『ブラックバッグ』

イギリスの国家サイバーセキュリティセンター、通称・NCSCで、世界を揺るがす不正プログラムが盗み出される事態が発生。エリート諜報員のジョージ（マイケル・ファスベンダー）が、組織内部の裏切り者を見つけ出す任務にあたるが、容疑者として浮上したのは自身の妻で凄腕諜報員のキャスリン（ケイト・ブランシェット）ら計5名だった。エリート諜報員vs二重スパイの頭脳戦が、スリリングに展開するミステリーサスペンス。

9月26日より、TOHOシネマズ日比谷ほかにて全国公開

© 2025 Focus Features, LLC. All Rights Reserved.

スパイの最前線から、
ダブルのスーツが似合う幹部へ。

C
O
V
E
R
S
T
O
R
Y

In Your CLOSET*

大人のジャケットスタイルに極上のエスプリを。

お洒落を楽しみたくなる季節がやってきた。〈エルメス〉の新作ジャケットは、シックな中にもエスプリが効いたデザインが魅力だ。ラベルで異なる個性を演出するのもメゾン流。気品漂うスタイルは旅先でも重宝するだろう。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=柴田 充 構成=大嶋慧子
*photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (CaNN) hair&make-up : Jun Matsumoto
 text : Mitsuru Shibata composition : Keiko Oshima*

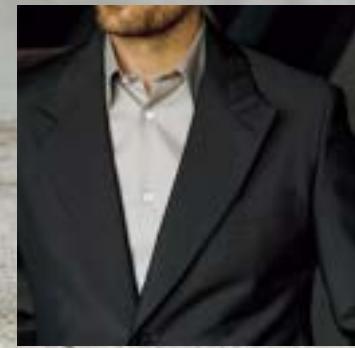


JACKET

エルメスの
“スタジアム”サテンディテール

メンズクロージングのお洒落でもジャケットは主役といっていい。しかし個性を出すにも色や柄で変化をつけるのはハードルが高い。そこでおすすめするのがサテンディテールの“スタジアム”だ。襟のタブを閉めればハイネックのポイントeddカラーとして着こなせる。フロントは内側のサテン素材との二枚仕上げで、ラフに羽織ったようなカジュアルテイストからドレススタイルにも合う。そんなユニークな遊び心に〈エルメス〉らしさが漂う。

ジャケット72万500円、シャツ16万5000円、パンツ20万4600円、靴26万7300円、手に持った手袋18万1500円、ブレスレット60万3900円、リング26万1800円(以上エルメス／エルメスジャポン)



襟のタブを内側にたたむと、エレガントなビーグルドラペルのジャケットに

HERMÈS / エルメス

In Your CLOSET*

ショッピングへと気持ちを誘う遊び心のトート。

キャッシュレスが主流になり、携行品は少なくなったとはいえ、スマホやクルマのキーでポケットを膨らますのもスマートではない。〈ルイ・ヴィトン〉のミニトートは実用性と高級感あふれる大人の遊び心を両立してくれる。

BAG

ルイ・ヴィトンの“ショッパー・トート MINI”

メンズ クリエイティブ・ディレクターのファレル・ウィリアムスが自身も愛用し、シグネチャーであるアイテムをアップデートした。ショッピングで手にするショッパーを小ぶりなレザートートに仕上げ、洗練されたストリートスタイルを提案する。トートならではのシンプルな仕様は収納性に優れ、脱着式のショルダーベルトで様々な使い方に応える。上質なレザーは手触りの風合いも心地よく、さりげないシグネチャーの刺繡も好印象だ。

バッグ各53万7900円、ブルゾン57万7500円、パンツ19万6900円、スカーフ4万5100円、サングラス参考商品、ブレスレット12万4300円、リング6万6000円（以上ルイ・ヴィトン／ルイ・ヴィトン クライアントサービス）



オリーブ×ピンクのほか、カラーバリエーションにはオレンジ×ネイビーも揃える



In Your CLOSET*

エレガントな腕元は女性たちの視線を釘づけに。

パリの洗練と美を象徴する〈ヴァン クリーフ&アーペル〉は多くの憧憬を集め。だがその魅力を女性たちに独占させておくことはないだろう。“ピエール アーペル ウオッチ”には慎ましやかさにダンディズムが香り立つ。



WATCH

ヴァン クリーフ&アーペルの “ピエール アーペル ウオッチ”

ハイジュエラーとして名高いメゾンだが、実は創業時から時計を手掛け、多くの名作を生み出してきた。創業者一族のピエール・アーペルが1949年に初のメンズウォッチとしてデザインし、イニシャルを名づけたのが“PA 49”だ。正円のケースにラグを省いた薄型デザインは一躍メゾンのアイコンとなった。シンプルなクラシックスタイルに唯一無二の個性を表現し、魅力は時代を超越する。漂うダンディズムは大人にこそふさわしい。



東京都庭園美術館 本館 正面外観 画像提供:東京都庭園美術館

会期:2025年9/27(土)~2026年1/18(日)
開館時間:10:00~18:00(入館は閉館の30分前まで)
※11/21(金)、22(土)、28(金)、29(土)、12/5(金)、
6(土)は20時まで開館 入館は閉館の30分前まで
休館日:毎週月曜および年末年始[12/28(日)~1/4(日)]
※祝日の月曜日(10/13、11/3、24、1/12)は開館。
翌日の火曜日(10/14、11/4、25、1/13)は休館。
会場:東京都庭園美術館 東京都港区白金台5-21-9
料金:一般 1400円 / 大学生 1120円 / 高校生・65歳以上 700円
※日時指定予約制。チケット販売の詳細は展覧会特設サイトで
<https://art.nikkei.com/timeless-art-deco/>

永遠なる瞬間 ヴァン クリーフ&アーペル ——ハイジュエリーが語るアール・デコ

メゾンのハイジュエリーを通じて、パリで開催された「現代装飾美術・産業美術国際博覧会(通称:アール・デコ博覧会)」の100周年を祝う展覧会。アール・デコの精華を受け継ぐ旧朝香宮邸(現・東京都庭園美術館)を舞台に、同博覧会の宝飾部門でグランプリを受賞した作品をはじめ、貴重なハイジュエリー、時計、工芸品、資料が展示される。パリで華開いたアール・デコとその芸術潮流がもたらしたメゾンの世界に触れるゴージャスな機会を見逃しなく。



右:《絡み合う花々、赤と白のローズ
ブレスレット》1924年 ブラチナ、
エメラルド、ルビー、オニキス、イエロ
ーダイヤモンド、ダイヤモンド ヴァ
ン クリーフ&アーペル コレクション
中:《コルレット》1929年 ブラチナ、
エメラルド、ダイヤモンド エジプ
トのファーザ王女旧蔵 ヴァン ク
リーフ&アーペル コレクション 左:
《ローズ ブローチ》1925年 ブラ
チナ、エメラルド、ルビー、オニキス、
ダイヤモンド ヴァン クリーフ&
アーペル コレクション

In Your CLOSET*

差さずとも持ち歩きたくなる、雨の日の相棒。

秋は梅雨と並ぶ雨の季節である。だがジメジメとした不快な梅雨とは違い、深まる寒さは風情を誇り、気持ちを落ち着かせる。そんな秋雨が待ち遠しくなるのが〈ロロ・ピアーナ〉の傘だ。手にすればその姿も凛々しくなる。



LORO PIANA / ロロ・ピアーナ

UMBRELLA

ロロ・ピアーナの“カシミヤ・アンブレラ”

手軽さからつい頼ってしまうのがビニール傘だが、やはり本格的な傘を手にしたい。それは大人の嗜みであり、風格と精神的な豊かさの象徴でもあるからだ。〈ロロ・ピアーナ〉の傘は、最高品質のカシミヤに撥水加工を施し、ストームシステムメンブレンを密閉した3層構造によって優れた撥水性と防風性を備える。ハンドルはメープルウッドを用い、なめらかにもかかわらず、グリップに優れる。大切に扱い、長く愛用するほど風合いの増す逸品だ。

傘26万1800円、ジャケット104万5000円、シャツ16万8300円、ネクタイ4万7300円、パンツ20万5700円、ポケットチーフ4万7300円、サングラス15万9500円(以上ロロ・ピアーナ / ロロ・ピアーナ ジャパン)



GIORGIO
ARMANI

着心地はとびきり優しく、
立ちふるまいは精悍に。

シアサッカーブランドの特有の豊かな表情が優しい印象を与える、ウール素材のシングルジャケット。ジャケット自体は芯地などの副資材を省いたアンコン仕立てで、身体を優しく包み込むような着心地を楽しめる。しかも、この生地はウールに少量のポリウレタンを混紡したストレッチ素材。ストレスをいっさい感じさせない動きやすさからも、リラックスした印象を与えることができる。肩パッドを入れずに凛々しいシルエットを描くショルダーラインも特徴的。肩の力を抜いて過ごしながら、凛とした立ちふるまいを演出できるあたりは、さすがのジョルジオアルマーニだ。

ジャケット44万円、シャツ35万2000円、スカーフ16万2800円、パンツ26万4000円、バッグ6万3800円(以上ジョルジオアルマーニ/ジョルジオアルマーニジャパン)

着心地も見栄えのよさも妥協なく。
待ち焦がれた秋、
上質なジャケットを1着。

心地よい秋風とともに訪れた、ジャケットの季節。着こなしは凛々しく、着心地は快適この上ない1着を新調して、待ち焦がれた秋の着こなしを存分に楽しみたい。世界のリーダーやセレブリティがその仕立てに全幅の信頼を寄せるブランドで、その理想を叶えよう。

写真：野口貴司 スタイリング：中川原 寛 ヘア＆メイク：松本 順 文：遠藤 匠 構成：大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaNN) hair&make-up: Jun Matsumoto
text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

BRIONI

“そよ風”をまとうような
優雅で快適な着心地を。

ワイドなピークドラペルが映える威風堂々とした佇まいとは裏腹に、驚きの軽さを楽しめる1着。モデル名は、イタリア語で“そよ風”を意味する“ソッフィオ”。カシミヤにシルクとリネンをブレンドした生地自体も出色的のしなやかさと軽さで、まさに“そよ風”を感じているときのような心地よさを享受させてくれる。前合わせが二重になるダブルブレスステッドであることを感じさせない、シャープなシルエットも特筆すべき魅力のひとつ。タイドアップも抜群に映えるが、ニットでカジュアルに着こなしても絵になる振り幅の広さも休日に楽しんでみたい。

ジャケット117万1500円、ニット20万2400円、パンツ19万1400円、ポケットチーフ2万9700円、サングラス参考商品、持ったコート参考商品(以上プリオーニ／プリオーニ クライアントサービス)

デニム色を品よく楽しむ
現代のラグジュアリー。

トラディショナルなプリンス・オブ・ウエールズのチェック柄に、“デニムブルー”という配色で清々しさと新鮮さをもたらした1着。すっきりとした印象ながら存在感のあるショルダーラインは、ブランドを特徴づけるディテールのひとつ。本社のある村の名前にちなんで“ソロメオショルダー”と名づけられたこの意匠が、肩パッドなしで男性の体格を魅力的に引き立ててくれる。加えて特筆すべきは、アルパカの長い繊維と柔らかなウールがひとつになって生まれる、なめらかな着心地。これを一度体験してしまうと、ジャケット選びの基準値が上がることは避けられなそうだ。

ジャケット86万9000円、シャツ11万3300円、ネクタイ3万9600円、ポケットチーフ4万2900円、パンツ16万2800円、サングラス9万6800円、レザーケース18万5900円、手に持ったニット16万3900円(以上ブルネロ クチネリ／ブルネロ クチネリ ジャパン)

BRUNELLO
CUCINELLI



A full-page photograph of a man in a dark double-breasted suit, white shirt, and patterned tie. He wears round-rimmed glasses and has a beard. He is standing in a doorway, looking off to the side. A briefcase is tucked under his left arm. The background shows a window and a textured wall.

TOM FORD

新生“トム フォード”的
魅力を新作ジャケットで。

新クリエイティブ・ディレクターのハイダー・アッカーマンのデビューコレクションとして注目を集め、今期の〈トム フォード〉。このダブルブレストのジャケットにおいては、イギリス的感性が息づくスタイルを通し、ブランド初期の世界観を彷彿とさせるテイラーリングを表現。エレガンスと自信、力強さを感じさせるその佇まいをワイドパンツとのスタイルで楽しみたい。Vゾーンは、ドット柄のクレリックシャツとナロータイで、英国テストとモダンさが同居するスタイリングに。こんな遊び心を楽しめる懐の深さもまた、このジャケットの魅力だ。

ジャケット66万6600円、シャツ19万9100円、
パンツ23万9800円、ネクタイ参考商品、ポケットチーフ3万800円、ブーツ39万9300円、バッグ23万1000円(以上トム フォード／トム フォード ジャパン)、眼鏡7万3700円(トム フォード アイウェア／トム フォード ジャパン)



GIORGIO ARMANI

銀幕を華やかに彩ってきた〈ジョルジオ アルマーニ〉

男が自らを輝かせるためにまとう
タイムレスかつ華麗な装い。

映画史に残る名画の中で、眩いばかりの輝きを放つハリウッド俳優たち。銀幕のスターである彼らは、自らを輝かせるために〈ジョルジオ アルマーニ〉をまとってきた。映画を愛し、映画に愛されてきたジョルジオ・アルマーニ氏が映画界で築いたレガシーは、50周年を迎えたブランドを語るうえでの重要な軌跡でもあるのだ。そして銀幕を彩ったその華麗な装いは、今なおタイムレスな輝きを放つ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (CaVN) hair&make-up : Jun Matsumoto
text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

2019年ブリティッシュ ファッション アワードでアルマーニ氏が特別功労賞を受賞。長年交流のあるセレブリティがその栄誉をともに祝福した。
右から：アルマーニ氏の姪のロベルタ・アルマーニ、トム・クルーズ、ジュリア・ロバーツ、ジョルジオ・アルマーニ、ケイト・ブランシェット

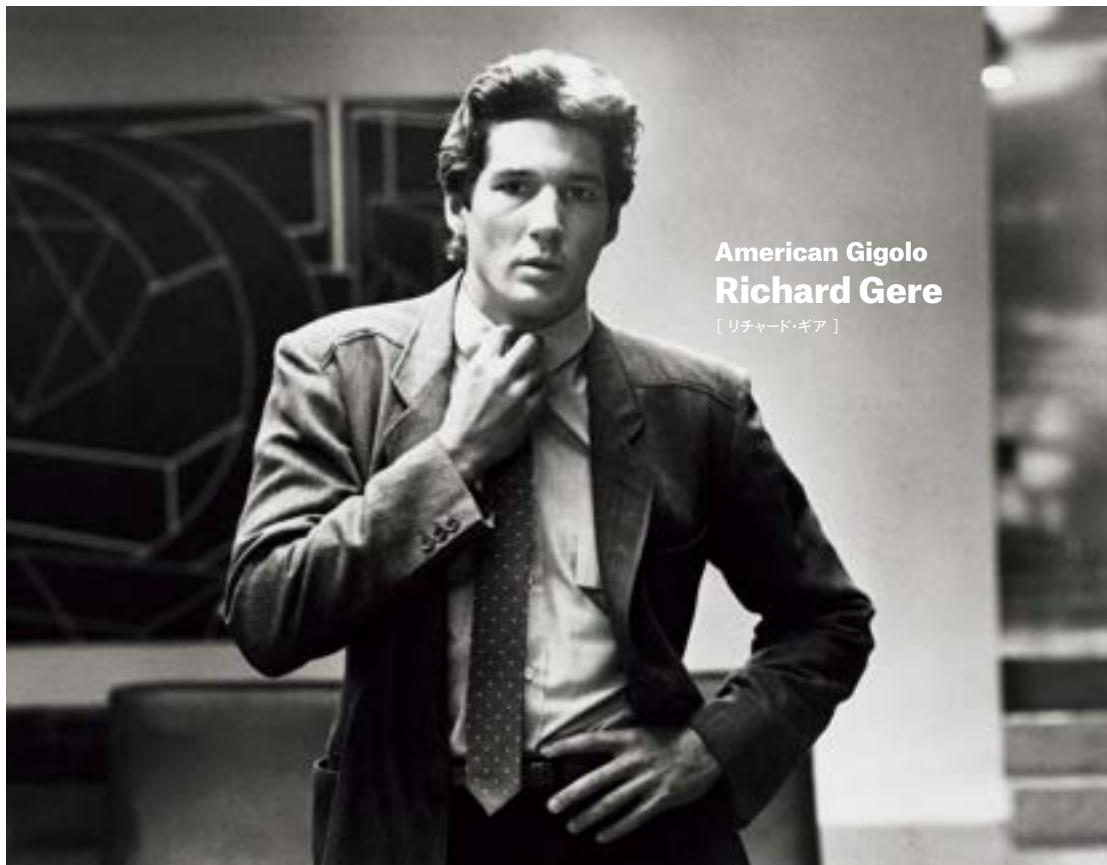
©SGP

ク ライムドラマである『アメリカン・ゴミ・ゴロ』でリチャード・ギアが世界を魅了したスーツスタイルを筆頭に、名だたる映画の衣装を手掛けってきた〈ジョルジオ アルマーニ〉。銀幕の衣装を手掛けるファッションデザイナーとして時代を牽引してきたジョルジオ・アルマーニ氏は、「映画こそが

幼い頃から持ち続けている情熱であり、そこで目にしたものが“私らしさ”を構築し、エレガンスの理解や知識を深めてくれた」と語るほど、映画を愛する人物としても知られている。その高い美意識は、『ダークナイト』のようなアクション映画はもとより、『花嫁の父』のようなコメディ、『エリジウム』といったSFまで多彩な

作品で表現してきた。これらの衣装の根底には「〈ジョルジオ アルマーニ〉の服は着ていて心地よいと感じる服であると同時に、着る人に自信を与えるものでなくてはならない」というアルマーニ氏の哲学が息づく。いつの時代も変わらずセレブを輝かせた装いを、誌面でプレイバックしてみよう！

映画界を彩ってきた
アルマーニ氏の高い
美意識とエレガンス。



Courtesy of Giorgio Armani

名画が描く男性像を引き立てる衣装に情熱を注いできたアルマーニ氏の功績。

1

980年公開の『アメリカン・ジゴロ』でリチャード・ギアの衣装を手掛け、その成功で映画界における確かな信頼を得た(ジョルジオ アルマーニ)。スーツといえばダークスースー挙だった時代に、エフォートレスなスタイルを優雅に着こなす主人公の姿は世界中に衝撃を与え、リチャード・ギアは一躍ファッションアイコンの1人となった。その後、手掛けてきた数々の衣装にも『永遠に忘れられないキャラクター』を創り出すことへの情熱が息づく

右上:『ダークナイト』では、億万長者にしてダークヒーローでもあるブルース・ウェインを演じたクリチャン・ベールのために、モダンなカットが印象的なスーツをMTMで仕立てた。左上:ジャケットやスーツを爽快と着こなし、ビバリーヒルズのマダムたちを顧客とするジゴロを演じた『アメリカン・ジゴロ』のリチャード・ギア。彼が披露したジャケット姿は、内なる自信を与えてくれる“パワースーツ”として、世界に広まった。左下:1920~'30年代初期のNYを描いた時代背景をデザインに落とし込み、(ジョルジオ アルマーニ)の世界観を融合させた『アンタッチャブル』。

物語性を秘めた時代ごとの広告のビジュアルもまた魅力のひとつ。

世 界の街やファッション誌の誌面、ビルボードを彩ってきた広告ビジュアルも、(ジョルジオ アルマーニ)の世界観を語るうえで忘れてはならない要素に。ジョルジオ・アルマーニ氏のクリエイションにおいては映画的な描写が重要な意味を持つことから、その広告キャンペーンにはストーリー性が高いものが多い。約30年にわたりパートナーシップを築いたアルド・ファライ氏に代表される第一線のファッションフォトグラファーとの芸術的対話から生まれたそのビジュアルもまた、時代を超えた魅力を放つ。

右:1970年代から数々の広告に携わってきたファッション写真界の巨匠、アルド・ファライが撮り下ろした1989年春夏の広告ビジュアル。中央:ソフトなファブリックが、風を受けて流れるように美しい曲線を描く、1994年春夏の広告キャンペーン。ドイツ出身の大御所ピーター・リンドバーグとタッグを組んだ名作。左:2012年春夏はマドンナのPV出演も話題を集めたスーパーモデルのサイモン・ネスマンを起用



ハリウッドスターが認める スタイルッシュさを自分でも。

ハ

リウッドセレブたちを輝かせてきた〈ジョルジオ アルマーニ〉のテイラーリングは、既製、あるいはMTM(メイド トゥ メジャー)のようなオーダーメイドでも楽しめる。ラインナップされたモデルはいずれも秀作だが、おすすめはスーツの中核モデルにして最も人気が高いラインの1着。コンパクトかつ美しいスリムフィットを描いたシングルブレストのモダンなスーツで、インターナショナルに活躍する男性にふさわしいスタイルを体現している。これはその新作で、遠目にはソリッドな無地に見えるが、至近距離に近づくと千鳥格子がさりげなく浮かぶバージンウールのファブリックが、カラダのラインに美しくフィットするシルエットのエレガントさを引き立ててくれる。こんなに精悍な佇まいながら、着心地は驚きの柔らかさなのも、さすがの“アルマーニ”だ。



日本でも人気の高い美しいスリムフィットでシルエットもモダンなスーツ。パンツもタックなしのプレーンフロントで、裾幅19cmのスリムなティバードシルエットを描く1本に。メイド トゥ メジャー、メイド トゥ オーダーにも対応。スーツ68万2000円、シャツ10万4500円、ネクタイ4万1800円(以上ジョルジオ アルマーニ／ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、その他はスタイリスト私物

肩の力を抜いても上品に。
革命的な着心地を今、再び。

立

体的な構造物であるジャケットに不可欠とされてきた芯地やパッドなどの副資材を取り除くことで、テイラードに革命を起こした〈ジョルジオ アルマーニ〉。1980年代に完成した“アンコンストラクテッド”と呼ばれるそのスタイルは、当時のファッショングの常識を根底から覆す社会現象となり、快適でエフオートレスな着こなしが脚光を浴びる現代においても再び注目を集めている。

その魅力を存分に楽しむのが、こちらのショールカラージャケット。ドロップショルダーによって生まれる落ち感がリラックスした印象を与える一方、ダブルブレストのフロントのボタンをとめずに着てもエレガントに見えるという絶妙なバランスが白眉な仕上がり。'80年代の気分をまとったバンドカラーのシャツを合わせ、至福の着心地を楽しんでみたい。

とことなく映画のワンシーンを思わせるダブルのジャケット。このゆったりとしたシルエットがまさに〈ジョルジオ アルマーニ〉。パンツとストール、シャツもジャケットと同じネイビートーンに。色の主張を抑えることで、落ち感の美しさがエレガントに引き立つ。ジャケット62万7000円、シャツ3万5200円、パンツ49万5000円、ストール11万5500円、手に持った帽子9万1300円、シューズ13万7500円（以上ジョルジオ アルマーニ／ジョルジオ アルマーニ ジャパン）





ハリー・ウィンストン銀座店

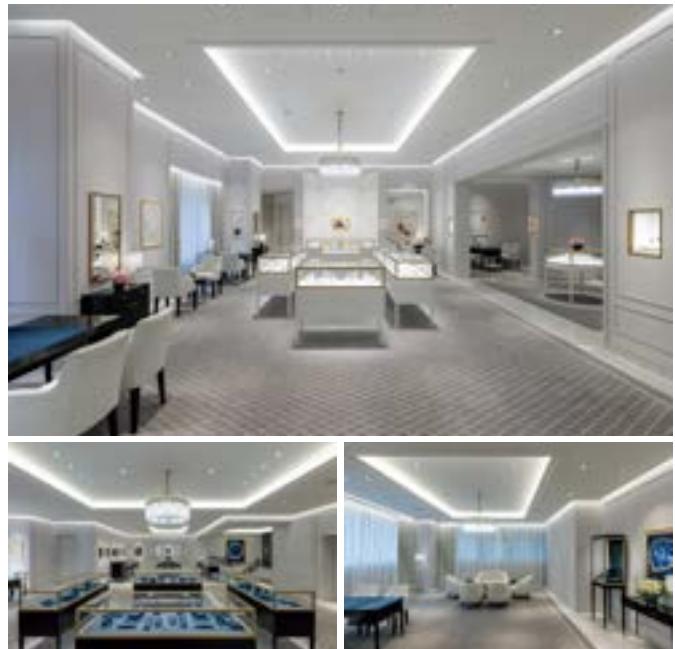
④東京都中央区銀座1-7-10
☎03-3535-6441 ⑨11:00~20:00 不定休

HARRY WINSTON

“ハリー・ウィンストン銀座店”が移転オープン。

最高の輝きに出会う フラッグシップサロン。

〈ハリー・ウィンストン〉の銀座店が2025年8月に移転オープン。
伝統的な〈ハリー・ウィンストン〉のスタイルをよりコンテンポラリーに
再構築したフラッグシップサロンとして誕生した。
“キング・オブ・ダイヤモンド”的至高のピースを、
極上の空間で。銀座での買い物をより楽しくしてくれそうだ。



上：気品あふれるエントランスを過ぎたら1階はブライダル・ジュエリーのフロア。白を基調とした明るくゆったりとした空間で、幸せに包まれたジュエリー選びを 下右：2階には日本最大級のVIPルームを設置。エクスクルーシブな空間でプライベートな時間を過ごすことができる 下左：時計、コレクション・ジュエリー、ハイジュエリーがお目当てなら2階へ。特に時計はなかなかお目にかかる名作やダイヤモンドウォッチが揃う

日 本初のサロン(1988年)を銀座の地でオープンした〈ハリー・ウィンストン〉。今回の移転では面積を拡大、最新コンセプトのサロンとして生まれ変わった。

ゲストに特別な時間を提供する店内は3フロア構成。いずれもブランドの伝統とクラフツマンシップへのこだわりを反映した。1階はブライダル・ジュエリーのフロア。2階にはコレクション・ジュエリー、タイムピース、そして〈ハリー・ウィンストン〉が誇る最高級のハイジュエリーのエリアのほか、日本最大級のVIPルームを設置。さらに地階には、日本初となるリペア専門コンシェルジュを導入。よりクオリティの高いアフターケアサービスを提供するという。延べ面積も869m²と国内最大規模。ゆったりと気持ちいい空間の中、価値ある眩いアイテムはもちろん、最高に輝くパートナーの笑顔にも出会えそうだ。



上：ダイヤモンドが圧巻！ HW オーション・オーターフォール オートマティック 42mm。ケース径42.2mm。自動巻き、18KWGケース、アリゲーターストラップ、10気圧防水。4763万円 右：
HW エメラルド・オートマティック 33mm。ケースサイズ33.3×39.3mm。自動巻き、18KWGケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。338万8000円(以上ハリー・ウィンストン／ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション)



銀座店で
先行販売中の
ミニループ・ペンダント

移転オープンを記念して“ミニループ・ペンドント”を発表。プラチナにダイヤモンドを繊細にセッティング。パートナーへのギフトにいかが？ 101万2000円(ハリー・ウィンストン／ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション)



*Urban*Safari

[アーバンサファリ]

CLOSE-UP BRAND

飛鳥Ⅲ

Exceptional moments
on ASUKA III

格別の時間を飛鳥Ⅲのクルーズで。

舞台は飛鳥Ⅲの船内。最幸の時間を自由に楽しむ。

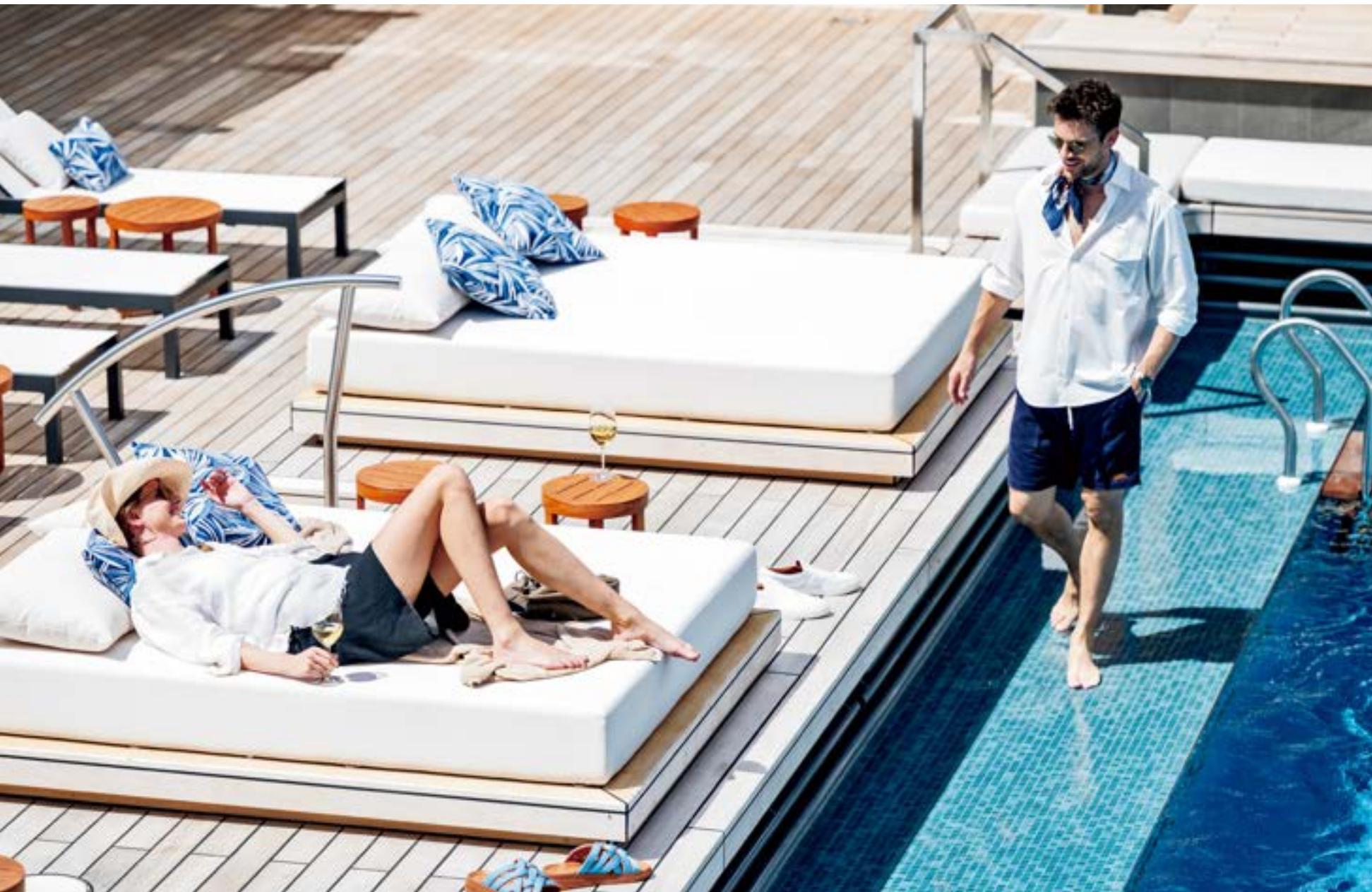
ラグジュアリーな空間で 移動が「悦びの時間」になる。

デッキに出れば、広がる水平線。周囲を海に囲まれる眺望は、船上でしか味わえない絶景。

この非日常の世界へと誘うクルーズの真骨頂こそが〈飛鳥Ⅲ〉。

日本のアートに触れ、自由な時間を過ごしつつ目覚めれば、そこは旅の目的地。

海と空のブルー、船内のきらびやかな空間はきっと至高の思い出に。



人

はなぜ旅をするのか。新しいものに触れ、刺激を得るために？それともリフレッシュのため？

いずれにせよ、旅に出るのであれば「存分に自由を楽しむ」旅程にしたいもの。オフの時間は気ままに過ごすのが理想。普段は分割みのスケジュールで動くビジネスパーソンにとって自由であることは悦びであり、本当のラグジュアリーと言っても過言ではない。そんな贅沢な時を過ごすなら〈飛鳥Ⅲ〉での旅を選択肢に入れてみてはどうだろう。飛行機でも列車でもなく、移動手段は船。移動中に美食やエンターテイメント、様々なアクティビティを楽しみながら、目覚めるとそこは目的地。船旅と聞くと長旅をイメージするが、実は3泊のプランがあり、週末のショートトリップやリフレッシュを兼ねたワーケーションとしての選択肢も浮上する。日本の芸術文化の粹を集めたアート作品に囲まれつつ過ごすひとときは、かけがえのない時間になるに違いない。



B



A



C

A.B：プレゼンテーションスタイルで提供されるイタリア料理のレストラン「アルマーレ」では創作メニューが楽しめる。海をイメージしたブルー基調の店内はシャンデリアが煌めき、千住博氏の作品と相まって気品あふれる C：何日でも滞在したくなる居心地のいい客室は、二人旅でもそれぞれプライベートな時間が過ごせる。旅の目的に合わせた過ごし方を ※料理や船内サービスは予告なく変更となる場合があります。

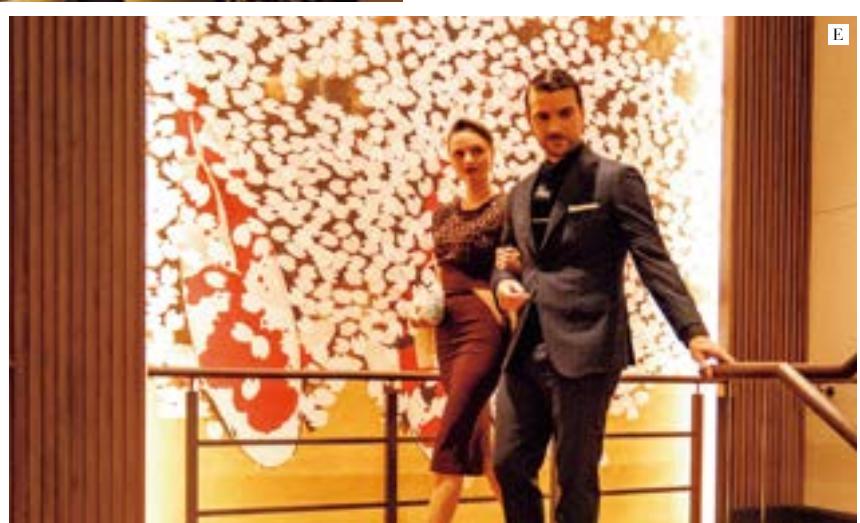


D: 3層吹き抜けのメインアトリウム「アスカラザ」(5デッキ)。蒔絵の人間国宝・室瀬和美氏による漆芸作品が鎮座し、ピアノの生演奏の調べも E: 平松礼二氏の作品が連なる階段アート。フロアを移動するたびに日本の美を感じられる F: ナイトタイムを演出するメインバー「マリナーズクラブ」(6デッキ)。格調高い空間で世界各国の銘酒などをどうぞ G:「カジノ アンティ」(6デッキ)ではドレスアップしてルーレットなどに興じたい

P24上写真右: シャツ2万7500円 (J.プレス オリジナルス/J.プレス & サンズ青山)、ショートパンツ1万9800円 (アーモンド/トライオン)、スカーフ1万4300円 (ボブ/タキヒヨー)、サングラス5万3900円 (モスコット/モスコットトウキョウ)、腕時計159万5000円 (オメガ)、シューズ2万4200円 (エーエムビー/プライム ビアンカ) P24上写真左: サングラス5万1700円 (アイヴァン/アイヴァン 東京ギャラリー)、バッグ9万3500円 (エディーエムジェイ/アクセソワドウマドモワゼル)、サンダル1万2100円 (マリブサンダルズ/シードコーポレーション) 写真C右: ジャケット24万7500円 (ラルディーニ/トヨダトレーディング プレスルーム)、ネイビーニットボロ6万3800円 (ジョンスメドレー/リミルズエージェンシー)、パンツ7万5900円 (イレブンティ/三喜商事) 写真G右: スーツ17万6000円 (エストネーション)、シャツ2万8000円 (イートン) 写真E左: ワンピース12万9800円 (エリザベッタ フランキ/エスケーシー)、バッグ7万9200円 (アンテプリマ/アンテプリマジャパン) 写真G右: ドレス5万3900円 (ミュラー オブ ヨシオクボ) 写真G右中: スーツ41万6900円、ネイビーシャツ7万400円 (ともにラルディーニ/トヨダトレーディング プレスルーム)、ネクタイ1万4300円 (J.プレス オリジナルス/J.プレス & サンズ青山)、腕時計77万円 (ライトリング/ライトリング・ジャパン)、サングラス5万3900円 (E5 アイヴァン/アイヴァン PR) 写真G左中: 写真E右と同じ 写真G左: 写真E左と同じ、その他記載のないアイテムはすべてスタイルリスト私物



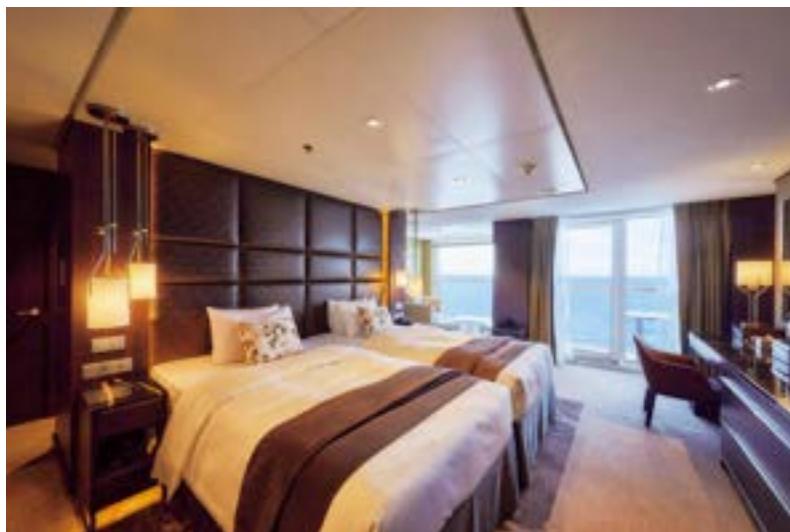
※バーの飲料、カジノは有料。〈飛鳥III〉は日本船籍につき、カジノのチップやコインを現金や記念品に交換することはできません





わずか2室のみに許された最上級客室。シャンデリアが輝く広々としたダイニングやワインセラー、カウンター付きのミニバーを設えたリビングルームには、平松礼二氏の作品が華を添える。特別なインクルーシブサービスが用意され、各種予約はもちろん最優先。さらに、滞在をより格別なものにしてくれるのがバトラーサービス。ゲスト一人ひとりのために仕立てられた心づくしのおもてなしを用意している。右：ジャケット8万2500円（ボブ／タキヒヨー）、パンツ5万3900円（ブリリア1949／トヨダトレーディング プレスルーム）、腕時計137万5000円（オメガ） 左：ジャケット18万1500円（イレブンティ／三喜商事）、ブラウス6万9300円（アスペジ／トヨダトレーディング プレスルーム）、スカート2万6900円（デシグアル／デシグアルストア 銀座中央通り店）、その他はスタイリスト私物

Royal Penthouse ロイヤルペントハウス



広々としたベッドルームエリア。奥にはウォークスルークローゼットがあり、専属チーフコンシェルジュが荷解きをしてくれる。バルコニー側には海や空を一望できるサンルームがあり、水平線を眺めながらゆったりと過ごせる。

刻々と変化する海と空をプライベート空間で堪能。

3つの客室クラスはすべて プライベートバルコニー付き。

クルーズにおいて客室は最も長い時間を過ごす場所。非日常の出会いと、自宅にいるようなプライベートなくつろぎを与えてくれる居住性が大切になってくる。《飛鳥Ⅲ》は、すべての客室がプライベートバルコニー付きという贅沢な設計を実現。晴れわたる空と輝く海とともに過ごす時間はきっと我々の感性を刺激してくれる。

自

分好みで楽しめるパーソナライズされたクルーズライフ。それこそが《飛鳥Ⅲ》が叶える“最幸の時間”。そのため客室クラスは3タイプから選べ、それぞれの過ごし方にフィットする空間が用意されている。至極のバトラーサービスによる最高峰のラグジュアリーステイを求めるならば、迷わずペントハウスクラスへ。洋上とは思えない静謐なる空間が、まさに別世界の滞在を演出してくれる。家族や仲間と一緒に過ごしながらも、それぞれの時間を

大切にしたいのならスイートクラスがおすすめ。リビングエリアとベッドルームが巧みに仕切られているので、ワーケーションスタイルにも最適。そして、はじめてのクルーズや一人旅にはバルコニークラスがぴったり。陽光が差し込む居住空間には優雅な滞在を約束する設備が整っている。いずれの客室クラスもゆったりと湯に浸かれるバスタブや収納力の高いクローゼット、キッチンシンク付きミニバーを完備。すべてのゲストにくつろぎのひとときをもたらしてくれる。



Midship Suite ミッドシップスイート



上質で洗練されたスイートは贅沢な空間と細やかな配慮が融合した、まさに至福の居住空間。二人旅の醍醐味である親密な時間と個々のプライバシーを尊重する独立した空間の両立を可能にしている。船首に位置するキャブテンズスイート、船尾のパノラマスイートなど、5つのタイプが存在。スイートを利用するゲストは、寄港地観光ツアーとレストランの先行予約が可能。船内の特別な時間を快適に過ごせるのが嬉しい。

ミッドシップスイートでは 「ASUKA III meets 47都道府県」を実施

船内にいながら日本全国の魅力が五感で楽しめるという特別プロジェクト。47都道府県それぞれを各室に割り当て、各地域の名産品を使用したウェルカムスイーツやドリンクを用意。また伝統工芸作品や特産品も客室内に設え、まるでその地域を旅しているような気分にも。



船内のすべての情報は タブレットでアクセス可能



各客室にはタブレット端末を設置。船内で行われるイベント内容のチェックや、寄港地の観光ツアーの予約なども、手元の操作で簡単にできる。船内で自由に過ごしつつ、気が向いたらタブレットで予定を確認してイベントにふらりと参加。そんな気ままな楽しみ方もおすすめ。

ASUKA Balcony アスカバルコニー

船内最多で飛鳥クルーズのクオリティをさらに高めた自慢の客室。非日常の旅においても自宅にいるようなくつろぎを提供する。船内の客室位置も多様なため、バルコニーから見える景色など、滞在するたびに新たな発見が楽しめる。その卓越した設計と機能性は2024年開催の国際的なクルーズ客船のインテリアコンテスト「CSI awards 2024」にてベストステートルーム賞を受賞。一人での乗船でも快適に楽しめる客室「ソロバルコニー」も。

個性豊かな6つのレストランで至福の時間を。
**船内で堪能する
妥協なきこだわりの美食。**

旅の醍醐味のひとつが食体験。洋上で過ごすクルーズでは、その期待はひとしお。〈飛鳥Ⅲ〉ではゲストの想像をはるかに超える至福の美食体験を提供。多彩なメニューを味わいながら、ふと船窓に目をやれば水平線に沈む夕陽が輝く。お気に入りの洋服に身を包み、贅沢の極みと言える瞬間を過ごすのはどうだろう。



船

内にはコンセプトが異なる6つのレストラン。いずれも厳選された食材を使用し、日本人の好みに合わせた珠玉の逸品料理が楽しめる。朝、昼、夕食、それぞれ自分の好みに合ったメニューを選べるのも魅力だ。もしも記念日や特別な瞬間を過ごしたいのなら、スイートクラスに予約してモダンと伝統を融合させたフランス料理が味わえる「ノブレス」(6デッキ)というチヨイスも。華やかな店内はテーブルの間隔

も広く、家族や友人と気兼ねなくグラスを交わすことができる。そして至福の食体験をさらに忘れない瞬間にと誘うのが、各店内のアート作品。レストランの入り口からゲストを迎える平松礼二氏(ノブレス店内)の名作や、田村能里子氏(フォーシーズン・ダイニングルーム出入り口)の名作が本物の感動をもたらしてくれる。窓越しには果てしなく続く大海原、特等席からの眺めも、心を満たす美食体験となるだろう。

A:日本の客船文化で育まれた洋食を提供する「フォーシーズン・ダイニングルーム」(5デッキ)。朝日が降り注ぐ清々しい空間で味わうモーニングは格別。白ニットカーディガン5万2800円(ジョンスメドレー／リーミルズ エージェンシー)、ドレス4万9500円(ミュラー オブ ヨシオクボ) 左:白Tシャツ2970円(ヘインズ／ヘインズプランズ ジャパン カスタマーセンター)、ニット5万600円(ジョンスメドレー／リーミルズ エージェンシー) B:ビュッフェスタイルの「エムスガーデン」(11デッキ)は世界各地の名物料理がずらり。早朝から深夜までオープンしているため、日の出を見届けた後や小腹が空いた際の夜食にも最適。指定銘柄のアルコールはインクルーシブ C:〈飛鳥Ⅲ〉のシグネチャーレストラン「ノブレス」で堪能できる飛鳥キュイジーヌの数々。メニューは季節ごとに変更され、訪れるたびに新たな発見が

絶景と贅沢な空間で日本船ならではのおもてなし。 心身ともに癒される ウェルネスな船旅を。

ゆったりとした時が流れる洋上の滞在。海の青さや空の広がり、夜空に輝く星々は、日常の喧騒から離れた心の安らぎをもたらしてくれる。船内にもアートやスパ、サロン、スタジオレッスン、ジョギング可能なデッキなどで心身のリフレッシュが図れるエリアが充実。気になる場所へ気ままに立ち寄りたい。



アート

船内を彩るのは、アート界を牽引する作家から若手作家まで幅広いラインナップ。パートナーとくつろぐカフェでふと視線を上げれば、作品が静かに存在感を放ち、客室の棚には精緻な工芸作品がさりげなく配されている。そんな特別な空間に身を置けば、心は自然と澄み渡っていくはず。さらに客室フロアの廊下などには注目の若手作家の意欲作や、アート公募展で選ばれた瑞々しい作品も展示。旅のひとときに穏やかな潤いをもたらしてくれる。



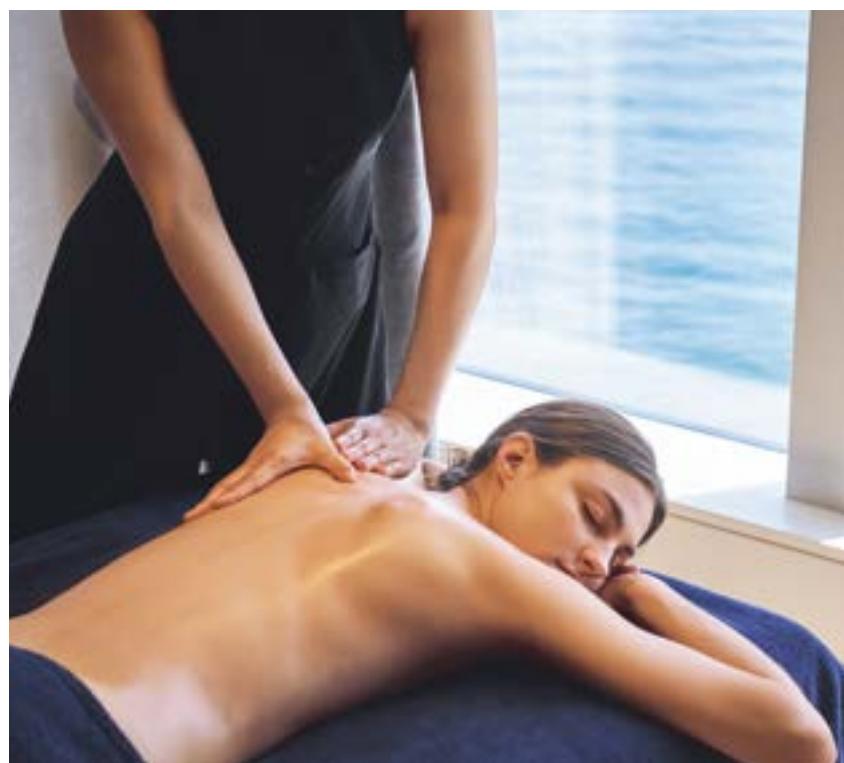
グランドスパ

日本船の飛鳥クルーズならではの特徴のひとつが大浴場と露天風呂。「グランドスパ」は高層の12デッキ船首側に位置し、針路に広がる大海原を望みながら湯に浸かるという贅沢を叶えてくれる。日中は水平線を行き交うタンカーや大型船、点在する島々が旅情を誘い、夕暮れには茜色に染まる空が海と溶け合う。やがて陽が沈めば満天の星々と月明かりが波間に照らし、静寂の中で心までも解きほぐしてくれるはず。大浴場には展望サウナも併設。



ウェルネスプログラム

「スタジオA3」(11デッキ)では、インストラクターの指導のもとエアリアルヨガなどのプログラムを実施。レベルごとにクラス分けがあるので、初心者でも安心して参加できる。さらにカラダを動かすプログラム以外にも、アート作品を自らの手で作るレッスンなど知的好奇心を満たす講座も開催。航海中は多種多様なプログラムがあるので日常と少し違うものに参加してみてはいかがだろうか。※一部有料レッスンあり



アスカ サロン&スパ

船内から移りゆく景色を眺めながら施術が受けられるトータルケアのサロン。スタッフによる丁寧なカウンセリングによって、ヘアカットからヘッドスパ、フェイシャル、ボディのトリートメントのほか、記念日に合わせたヘアスタイリング、メイク、ネイルなどのメニューも用意。プロによる確かなテクニックと波の揺らぎが加わる心地よさが深いリラクゼーションへと誘ってくれる。忙しい自分へのご褒美に贅沢な施術を受けてみてはいかが?

右：トップス8000円、レギンス
1万3800円 左：Tシャツ9000
円、ショーツ1万1800円 (以上
ルルレモン／ルルレモン お客様
窓口)

飛鳥Ⅲなら叶う、一人ひとりの優雅な時間。

自分らしく自由に過ごす、 それこそが最幸の贅沢。

自由な旅を実現するには多彩な選択肢を備え、あらゆる世代やニーズ、ライフスタイルに寄り添うサービスが必須となる。〈飛鳥Ⅲ〉には、そのすべてが揃っており、これまでの歴史の中で培ってきた心地よいおもてなしをさらに磨き上げ、あらゆるシーンで、ゲストの期待を超えるサービスを提供している。



船上で新たなビジネスのひらめきを

長期休暇が必要と敬遠されがちなロングクルーズも、〈飛鳥Ⅲ〉のデジタル環境なら一変するだろう。船内には衛星通信サービス、スターリンクを導入し、フリーWi-Fiを完備。バカンスを満喫しながら、合間に仕事をこなす。そんなワーケーションスタイルも可能。客室だけではなく、船内のパブリックスペースには快適に過ごせるエリアが数多く用意されているので、その日の気分に合わせて最適なスポットを選ぶことができる。



極上のエンターテイメントを船内のシアターで

ディナーやバーでの語らいのひとときを過ごしたら、その後は「リュミエールシアター」(6デッキ)で新感覚のイマーシブ(没入型)パフォーミングアーツを鑑賞するというのにはいかがだろう。最先端のホログラフィックやLEDスクリーンを駆使し、幻想的かつ迫力あふれるデジタルアート映像とダンスパフォーマンスを融合。まるで物語の世界に迷い込んだかのような感覚に浸れる。一旗による「MYSTERIO -ミステリオ-」などが上演中。



目覚めたら目的地。これこそ船旅の醍醐味

寄港するプランでは、午前に入港し、夕方には出港するのが定番。そのため、昼間は寄港先で観光やグルメを充分に楽しむことができる。個人で観光スポットを探すのが難しい場合は、5デッキの「トラベラーズサロン」が心強い味方に。ここでは、特別な体験や本物の文化に触れることができる「A3エクスペリエンス」と呼ばれる寄港地観光ツアーを用意。岸壁での地元の方々による歓迎にも心うたれる。



極上の音楽に満ちた空間を堪能する

一人でのんびり過ごす時間に飽きたら、船内イベントに参加してみるのも一興。なかでも特別な体験になるのが、11デッキの「アルバトロスプール」で繰り広げられる屋外ライヴ。バンドの生演奏が響き渡り、迫力あるサウンドが夜空に溶け込む。さらびやかな照明に照らされ、昼間とは異なるプールサイドの雰囲気が、心とカラダを自然に躍らせるはず。カクテルを片手に、思いきりその場の熱気に身を委ねてみたい。

■アイヴァン 東京ギャラリー 03-3409-1972 アイヴァン PR 03-6450-5300
アクセソワドウマモワゼル 03-3475-4046 アンテプリマジャパン 0120-03-6962
イトン https://www.etonshirts.com/jp/ja エスケーシー 06-6245-3171
エストネーション 0120-503-971 オメガ 0570-000-087 三喜商事 03-6426-5481
J.プレス & サンズ 青山 03-6805-0315 シードコーポレーション 054-282-2112
タキヒヨー 03-5829-5671 デジグアルスア 銀座中央通り店 03-6264-5431
トヨダトレーディング ブレスルーム 03-5350-5567 トライオン 03-4485-0051
ヘインズプランズジャパン カスタマーセンター 0120-456-042
ブライティング・ジャパン 0120-105-707 ブライムビアンカ 047-711-2691
ミュラー オブ ヨシオクボ 03-3794-4037 モスコット トウキョウ 03-6434-1070
リーミルズ エージェンシー 03-5784-1238 ルルレモン お客様窓口 0800-080-4090

Information

3泊から可能な飛鳥Ⅲの旅、旅程、詳細はQRコードから。

ほかの旅では味わうことのできない〈飛鳥Ⅲ〉の旅。「クルーズ=長旅」と考えてしまうかもしれないが、実は3泊4日の旅程が用意されている。忙しいビジネスパーソンにとってワーケーションはもちろん、ちょっとしたリフレッシュの時間を船上にて過ごすことが可能。極上のクルーズ旅を、これから予定の選択肢に加えてみてはどうだろう。

公式予約サイト
はこちらから

飛鳥クルーズ
公式ページ



Gastronomic City ● Oita*



「豊後前」という新ジャンルで挑む鮨店が大分県別府にオープン!

日本を代表する温泉地、別府のホテルの中に生まれた鮨店が話題だ。

鮨ネタや食材のほとんどは、地元の海の幸・山の幸で構成。

ここでしか味わえない新感覚の鮨体験をいち早くレポートする。

取材・文=中村孝則 text: Takanori Nakamura

Bungomae Musui / 豊後前 霧翠

豊

後(ぶんご)とは、今の大分県の大部分を指す旧国名のこと。大分県と四国の間の海は豊後水道と呼ばれ昔から豊穣な海の幸に恵まれた海域である。

その豊後の豊かな食材で挑む鮨店「霧翠」が、「江戸前」ならぬ「豊後前」と銘打つて、2025年6月1日に大分・別府の「ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ」内にオープンした。

このホテルは、別府の温泉文化と世界的なラグジュアリーホテルが融合した究極の癒しのリゾートとして2019年8月にオープンした。この鮨店は高級ホテルの中で、しかも新たなスタイルでの挑戦ということで、フーディーの間でも話題になっており、さっそく体験することに。

店内は世界に展開するインターナショナルのホテルらしく、大分の象徴で

もある竹工芸や天然素材を駆使した凝ったディテールや調度品で構成され、高級感を演出する。広々としたカウンター席のほか、個室を備えた店内はゆったりとした空間で、温泉地らしい寛いだ雰囲気で居心地もいい。

この鮨店を立ち上げるにあたり、白羽の矢が立った料理長の三好博幸さんは、地元の大分出身の料理人。大阪や京都の日本料理の名店で修業を積み、コース料理の中に懐石料理と鮨をバランスよく構成する。豊後前と銘打つだけあり、食材のほとんどは大分周辺の海の幸・山の幸で構成されるのだが、さすが地元出身の三好さんは地元の魚や食材を熟知しており、この地でしか味わえない風味で喰らせる。懐石料理の技術の高さもさることながら、特に鮨は素晴らしい。関アジや関サバといったブランド魚はもちろん、国東のタコ

や太刀魚や車海老、別府沖のイサキやフグなどを使い、独自の調味や工夫で唯一無二の鮨を繰り出してくれる。素材や調理法に対しての質問にも、うんちくを交えながら的確に答えてくれるのも楽しい。握りのシャリは、ネタに応じて2種類を使い分け、地元名産のカボスなどの柑橘を調味に用いたりするのも面白い。そういった創意も、豊後前という新ジャンルで挑む鮨店らしい意欲にあふれている。

近年、インバウンドの外国人ゲストを意識し、鮨店を備える高級ホテルや温泉宿が増えつつあるが、この「霧翠」は、その試金石としても注目に値すると改めて思う。ちなみに、この鮨店は、ホテルゲストだけでなく、外来のゲストも利用可能であり、ランチとディナーで営業しているので、別府を訪れる機会があれば是非立ち寄って、ご自身で豊後前の真髄を体験してみてほしい。



取材・文 中村孝則 美食評論家

神奈川県葉山町出身。ファッショニカラ美食や旅などをテーマに新聞や雑誌、テレビなどで活躍中。主な著書に『名店レシピの巡礼修業』(世界文化社)。「世界のベストレストラン50」日本評議委員長も務める。大日本茶道学会茶道教授、剣道教士八段。

ジャケット13万9700円(タ
リアトーレ／トレメツォ)、
タートルネックニット10
万8900円(ドルモア／バイ
ンドピーアール)、腕時計
248万1600円、胸ポケット
に挿したボールペン22万円
(以上カルティエ／カルテ
ィエ カスタマー サービス
センター)

CARTIER

格式と革新が共存する〈カルティエ〉の傑作コレクション。
大人の手元に、物語のある時計を。

時を超えて受け継がれる美意識と熟練の技。〈カルティエ〉の
“タンク”コレクションは、誕生から100年を超えてなお革新を重ね、
芸術性と精緻な設計を融合させたマスター ピースだ。
その造形美と物語が、大人の腕元にふさわしい風格を与えてくれる。

写真=今江寿之、正重智生 スタイリング=田川匠 ヘア&メイク=勝 健太郎 構成&文=池上隆太
photo : Toshiyuki Imae, Tomoo Syoju (BOIL) styling : Takumi Tagawa (remix)
hair&make-up : Kentaro Katsu (SIGNO) composition&text : Ryuta Ikegami (AM5.00)

リーダーの腕には、確かにストーリーと卓越した技術が織りなす、上質な時計がふさわしい。〈カルティエ〉の“タンク”コレクションは、まさにその象徴といえるだろう。1917年、戦車を上から見た構図に着想を得て誕生。100年以上にわたり、〈カルティエ〉のエレガンスを体現してきた。デザインファーストの理念を宿す“タンク”は、ブレスレットからケースへと続く美しいライン、無駄を削ぎ落としたピュアなシルエットにより、完成された造形美を誇る。その背後には、メゾンに受け継がれる

職人たちのサヴォアフェールがあり、わずかな厚みの違いや磨きの角度、ケースとラグの繋ぎ目のなめらかさに至るまで、いっさいの妥協を許さず、シンプルなフォルムに奥行きを与えていた。“タンク”コレクションは、アートやファッション界からも支持され、セレブリティやリーダーたちの腕元も飾ってきた。しかし、その普遍的な魅力は、華やかな話題性以上に、確かな技術と造形の純度に裏打ちされている。常に刷新を重ねながらも、伝統を守り抜く姿勢こそが、時代を超えて愛され、一流の人に選ばれる理由だろう。

TANK LOUIS CARTIER

[タンク ルイ カルティエ]



TANK À GUICHETS

[タンク ア ギシェ]



TANK FRANÇAISE

[タンク フランセーズ]



右:ダイヤルにはマザーオブパールを採用し、柔らかく繊細な光を放つ。インデックスは12個のブリリアントカットダイヤモンド、四つ角にはダイヤモンドを反転させてセットすることで、スクエアフォルムを際立たせた。ケースサイズ25.7×21.2mm、クオーツ、YGケース&ブレス、日常生活防水。日本限定モデル。529万3200円(カルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター) 中:オリジナルの“タンク”を継承する“タンクルイ カルティエ”が自動巻きムーブメントを搭載し、ひとまわり大きなサイズで登場。イエローパーニッシュ仕上げのダイヤルがクラシカルな表情を生み出し、ブルースチール製の短剣針が静かに時を刻む。ケースサイズ38.1×27.75mm、自動巻き、PGケース、アリゲーターストラップ、日常生活防水。248万1600円(カルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター) 左:1928年に誕生し、時計愛好家から支持を集める伝説的モデルを再解釈して復刻。オリジナルを踏襲し、ケースに窓を設けて時刻を表示する独創的なデザインやジャンビングアワーと呼ばれる複雑機構を搭載。ケースサイズ37.6×24.8mm、手巻き、YGケース、アリゲーターストラップ、非防水。759万円(カルティエ／カルティエ カスタマー サービスセンター)

Osaka's New Luxury Chapter*

世界最高峰のホスピタリティが大阪に。

今年、大阪に登場した外資系ホテルはラグジュアリーでも“ウルトラ”級の別格だ。日本の伝統に敬意を払いつつ、独自の世界観を展開するあたりは、さすが! 大阪・関西万博も残すところわずか。駆け込みで大阪を訪れるなら、この機会に体験を。

text: Chieko Koseki 文=古関千恵子



01 大阪城を一望に! 創造性と ウェルネスの融合が新しい。 **PATINA OSAKA**

[パティーナ大阪]

おもにアジアやオセアニアで展開している〈カペラホテルグループ〉のブランド、〈パティーナ〉が日本初上陸。5月1日、大阪城を一望にする地上20階のホテルが誕生した。コンセプトは、アート・デザイン・音楽などの創造性×ウェルビーイング。その象徴的な施設が、「リスニングルーム by OJAS」だ。NYを拠点とする、サウンドデザイナーのデヴォン・ターンブル氏(別名OJAS)が手掛けたこの施設、アナログのレコード盤を“聞く”ための音響システムが設計されている。盤を選び、針を落とす、といった儀式を経て音楽に没入していく、というわけだ。

また、4階のフロアすべてを占める、1400m²の「パティーナ・ウェルネス」にも注目。高気圧酸素 & 水素セラピー やクライオセラピー、遠赤外線サウナ、LEDフルボディトリートメントなど、先進のウェルネス体験が一堂に。

客室は全221室。木材や石材、漆喰、和紙など、自然の建材を使い、日本の伝統的な職人の技が光る。広さは50m²以上。畳のシーディングエリアなどの和情緒の中に、現代の居住性も併せ持つ。ちなみにハイエンドな「パティーナスイート」には、ターンテーブルも設置。

他にも、館内のアート作品をめぐるツアーなど、感性を刺激する体験が内なる自分に気づくきっかけとなるはず。



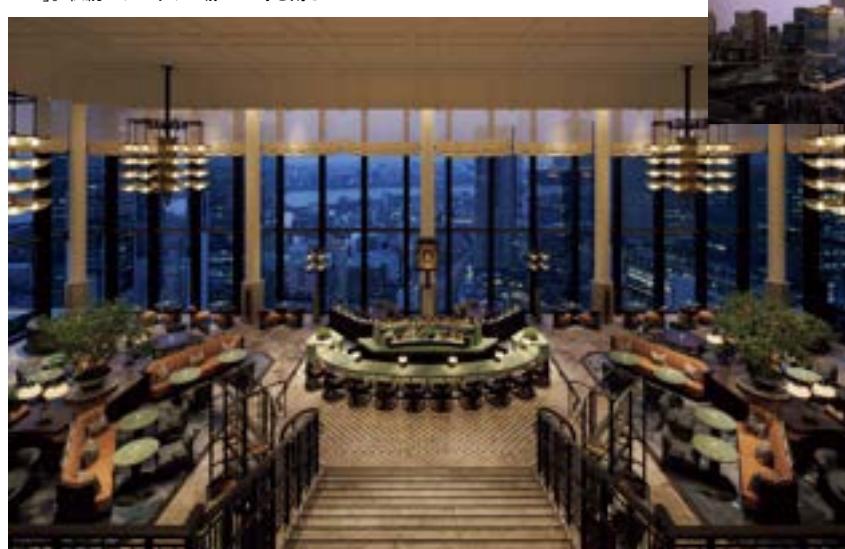
ToLoLo studio

A: 有機的な植物がミニマルなデザインに溶け込んだエントランス。谷町四丁目駅や森ノ宮駅から徒歩10分圏内。無料シャトルサービスも。B: 4階のパティーナ・ウェルネスのインドア温水プール。眼下に大阪城公園を望む。C: 伝統の技を今に伝える客室。フレッテのリネンやバンフォードのアメニティで快適に

DATA

④大阪府大阪市中央区馬場町3-91
☎06-6941-8888
<https://patinahotels.com/osaka/ja>

2階にまたがるラウンジ&バー「ビーコック・アレー」。伝統のクロックが静かに時を刻む



A: 30階にある屋内プールからは大阪のスカイラインを一望に。スパやフィットネスなどウェルネス施設が充実。B: 寿司と鉄板焼きの二刀流、シグネチャーレストランの「月見」。ほかにモダンフレンチブラッスリー、デスティネーションバーなどの飲食施設も。C: 客室は31~38階に252室。うめきた公園に隣接する絶好の立地

02 原点から再解釈した大阪モダン・アールデコ。 **WALDORF ASTORIA OSAKA**

[ウォルドーフ・アストリア大阪]

ヒルトンの最上級ラグジュアリーブランド、〈ウォルドーフ・アストリア〉が4月3日、グラニグリーン大阪 南館にオープン。昨年9月開業の〈キャノピーbyヒルトン大阪梅田〉に続き、真打登場といった流れだ。

ウォルドーフ・アストリアの伝説のはじまりは、1893年のニューヨーク。今では当たり前の、客室内のバスルームはこのブランドが発祥。ゲストに応じた秀逸なサービスは今も変わりない。

ここ大阪では1、2階と28~38階に展開。デザインは世界的に評価の高い建築家アンドレ・フー氏が担当。ウォルドーフ・アストリア・ニューヨークのアールデコ様式を大阪の文脈で再解釈し、日本の伝統的な建築様式と融合した、“大阪モダン・アールデコ”。フランク・ロイド・ライトが手掛けた「ヨドコ

ウ迎賓館」からもヒントを得ているそう。印象的なのは、ラウンジ&バー「ビーコック・アレー」。天神祭りを彷彿とさせる4基のシャンデリアが圧巻だ。

252の客室は46m²以上。組子細工のスクリーンや行灯を思わせるランプシェードなど、伝統工芸のエッセンスが随所に。フルハイイトの窓からは淀川や大阪湾、街並みのスカイラインを望む。温かみのある色使い、オーダーメイドの家具など、ウォルドーフ・アストリアのエレガンスがちりばめられている。

DATA

④大阪府大阪市北区大深町5-54
グラニグリーン大阪南館
☎06-7655-7111
waldorfastoriaosaka.jp



Ingenieur Automatic 42

[インヂュニア・オートマティック 42]

初のフルセラミック構造は、マルチビースにより薄型化。ハーフスケルトンのシースルーバック越しに60時間の駆動時間を備えるキャリバー82110を搭載する。ケース径42mm、自動巻き、100m防水、セラミックケース&ブレスレット。308万円 (IWCシャフハウゼン)



Ingenieur Automatic 40

[インヂュニア・オートマティック 40]



Ingenieur Perpetual Calendar 41

[インヂュニア・パーペチュアル・カレンダー 41]



Ingenieur Automatic 35

[インヂュニア・オートマティック 35]



右：細部のバランスを調整し、デザインを損なうことなくケースをダウンサイジング。文字盤をケース&ブレスと同色にすることでエレガントな存在感が増す。ケース径35.1mm、自動巻き、100m防水、18KRGケース&ブレスレット。628万6500円 中央：ブランドの代表的な複雑機構であるパーペチュアルカレンダーを搭載。高い信頼性と、リューズだけに調整可能という実用性を併せ持つ。ケース径41.6mm、自動巻き、100m防水、SSケース&ブレスレット。585万2000円 左：18Kレッドゴールドのみで作られたケースとブレスレットにブラックの文字盤が際立つ。細かなラインとスクエア模様によるデジタルテイストのグリッドパターンが、手元に奥行きと上質さを演出する。ケース径40mm、自動巻き、100m防水、18KRGケース&ブレスレット。735万9000円 (以上、IWCシャフハウゼン)

Information

福岡市に新たなブティックがオープン

10月4日(土)、福岡に新たなブティックがオープン。卓越したクラフトマンシップと革新的なデザインを堪能できる空間は、唯一無二の仕上がり。グランドオープンを記念したスペシャルなイベントも予定している。

IWCシャフハウゼン
福岡ブティック
⑩福岡市中央区大名1-1-45
☎0120-80-1868
⌚11:00~19:30

IWC

〈IWCシャフハウゼン〉の歴史を象徴する名品をこの手に。

機能性と美意識が煌めく 「インヂュニア」の新作。

一昨年のリニューアルから人気沸騰中の“インヂュニア”に多彩な魅力のバリエーションが加わった。ブラックのフルセラミックやゴールド、さらに複雑機構やトレンドの小径モデルといった新たな個性はコレクションの可能性を広げ、タイムレスな価値とともに〈IWCシャフハウゼン〉の精神を継承するのである。

文:柴田 充 text: Mitsuhiro Shibata

Iンヂニアを意味する“インヂュニア”は、高磁気の作業環境に従事する技術者や研究者、医療関係者らに向けて、ブランド初の自動巻きと耐磁性を備えた時計として1955年に開発された。その後、ウォッチデザインの巨匠ジエラルド・ジェンタが1976年に手掛けた“インヂュニアSL”は凹みのあるねじ込みベゼルやケースとの一体型ブレスレット、グリッドパターンの文字盤といった独自のモダンなデザインで、以降のアイコンスタイルになった。

このデザインの基本を崩すことなく、2023年には現代的な解釈を加え、最新技術で磨きをかけた。最新作ではセラミック素材やパーペチュアルカレンダー機構の採用をはじめ、ラグジュアリーなゴールドや小径モデルなどコレクションを充実する。それでも全体に確固たる統一感が漂うのは高い完成度のデザインがあってこそだろう。そこには機能美に象徴される、機能とフォルムの融合という〈IWCシャフハウゼン〉というブランドの精神が息づくのである。

男：ジャケット20万7900円、ニット13万7500円(以上イレブンティ／三喜商事)、その他はスタイリスト私物 女：ジャケット37万2900円(イレブンティ／三喜商事)、その他はスタイリスト私物

腕時計

時計の楽しみ方は、十人十色。パートナーと2人で美しくて質の高い時計をまとい、日常に上質さをもたらすその演出効果を楽しむ……。そんな日があってもいいのではないかだろうか。こうした演出を理想的な形で実現してくれるのが、〈キングセイコー〉のドレスウォッチだ。まず、1960年代の名作から受け継ぐその併まいには、懐かしさと近未来感が同居した普遍的な魅力がある。そのうえで、確かな技術に裏打ちされた美しいダイヤルが手元に華やかさをもたらしてくれる。それぞれのダイヤルには、ブランドの歴史を現代に語り継ぐような“物語”が息づいているのも面白い。“手の届く上質”を、パートナーにプレゼントしても喜ばれるに違いない。

KS1969



右：セイコーの現行ムーブメント最薄のCal.6L35で、ケース厚9.9mmまで薄型化することに成功した“SDKA021”。ケース径39.4mm、自動巻き(手巻き付き)、SSケース＆ブレス、5気圧防水。39万6000円 左：歴史と未来が交錯する現代の東京の街並みを表現したシルバーダイヤルが、美しい光沢感を放つ“SDKA017”。ケース径39.4mm、自動巻き(手巻き付き)、SSケース＆ブレス、5気圧防水。39万6000円(以上キングセイコー／セイコーウオッチお客様相談室)

King Seiko

〈キングセイコー〉で手の届く“上質”を。
“美ダイヤル”的機械式腕時計で
2人の日常を特別に。

先進的な性能とデザインを手の届きやすい価格で提供する時計作りで、1960～70年代に国産機械式腕時計の新しい在り方を示した〈キングセイコー〉。2022年に待望の復活を果たした現在も、そのスタイルは健在。現代の技術で進化を遂げた“美ダイヤル”的機械式腕時計が、パートナーと過ごす日常を特別な時間に変えてくれる。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア＆メイク=松本 順 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (CaNN)
hair&make-up : Jun Matsumoto text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

男:ブルゾン32万8900円(イレブンティ／三喜商事)、その他はスタイリスト私物 女:ポンチヨ39万4900円、ニット7万5900円(以上イレブンティ／三喜商事)、その他はスタイリスト私物

Information

VANAC [バナック]

東京の地平線を表現したモデルにも要注目!

水平方向に広がるストライプの型打パターンで、東京の地平線を表現した“SDKV001”。現行のセイコームカニカルムーブメントとして最も安定した精度を誇る“キャリバー8L45”は、約72時間のパワーリザーブも兼ね備えている。ケース径41mm、自動巻き(手巻き付き)、SSケース＆ブレス、10気圧防水。39万6000円(キングセイコー／セイコーウオッチお客様相談室)

SSブレスは、別売りのストラップにチェンジ可能。左のモデルは自分で替える。レザーストラップ1万6500円～、別売りの三つ折れ中留1万1000円(以上キングセイコー／セイコーウオッチお客様相談室)

ブレスはチェンジ可能。

SDKA013 [SDKA013]

SDKS031 [SDKS031]

ブランド生誕の地である東京・亀戸は、浮世絵にも度々描かれてきた魅力的な街。その亀戸を象徴する“亀甲文”をモチーフにした型打模様、隅田川から着想を得た深い青色でダイヤルに描いた。ケース径38.6mm、自動巻き(手巻き付き)、SSケース＆ブレス、5気圧防水。41万8000円(キングセイコー／セイコーウオッチお客様相談室)

日付表示のない3針で、現行モデル最小。バーガンディカラーのダイヤルが、手元に美しく映える。時分針とインデックスには、ダイヤルカラーに調和するエイジングカラーのルミブライトを施した。ケース径36.1mm、自動巻き(手巻き付き)、SSケース＆ブレス、10気圧防水。24万2000円(キングセイコー／セイコーウオッチお客様相談室)

1

832年に創業した〈ロンジン〉
は、他社に先駆け大きな時計
工房を設立した老舗。企画、製
造、出荷までを一貫して行う近代的な時計
製造体制を整え品質を高め、万国博覧会
で好成績を収めた。また国際的なスパー
ツイベントの公式計時を担当するなど、ス
イス時計文化の中心的役割を担ってきた。

“ロンジン マスターコレクション”は、
ブランドが培ってきた普遍的なエレガン
スを体现するコレクション。ラウンドケ
ースとリーフ型の針が特徴で、シンプル
モデルからクロノグラフモデルまで幅広
いバリエーションを揃える。

この時計には、〈ロンジン〉がけん引し
てきたスイス時計史が表現されているが、
それでいてシリコンパーツを用いて耐磁
性を高めるなど現代的な進化も遂げる。
端正なクラシックウォッチを日常的に樂
しみたい人たちの最適解となるだろう。

ジャケット14万8500円(バルバ
ナボリ／コロネット)、その他
はスタイルリスト私物

LONGINES

端正なドレスウォッチといえば〈ロンジン〉。
大人ならスタイルに
機械式時計を楽しむ。

いつの時代も男の腕元には、端正なクラシックウォッチが必要だ。その王道といえるの
が、スイスの時計文化を牽引してきた〈ロンジン〉の“ロンジン マスターコレクション”。

エレガントな雰囲気を現代に伝えつつ決して強く主張せず、しかし人々の
琴線に触れる美しい佇まいがある。それこそが、名門ブランドの矜持なのだ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=篠田哲生 構成=大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (CaNN) hair&make up : Jun Matsumoto
text : Tetsuo Shinoda composition : Keiko Oshima

モデル着用



variation



LONGINES MASTER COLLECTION

[ロンジン マスターコレクション]

右：彫り数字が美しい“ロンジン マスターコレクション”的三針
モデル。ケース径40mm、ケース厚9.35mm、自動巻き、SSケース、
アリゲーターストラップ、3気圧防水。37万9500円 左：“ロンジ
ン マスターコレクション”的クロノグラフは、カレンダー機能も
充実。ケース径40mm、ケース厚14.3mm、自動巻き、SSケース、ア
リゲーターストラップ、3気圧防水。55万7700円(以上ロンジン)



剛健さとラグジュアリーを併せ持つBLACK MULTI(ブラックマルチ)カラー。サイドに配された〈フランク ミュラー〉のカラフルなアイコンがアクセントとして機能し、さりげなく目を引く役割を果たしている。5万2800円(ダナー)

COLOR VARIATION



DANNER FIELD

[ダナー フィールド]

トレイルをはじめフィールドワークに本領を発揮する、本格スペックモデルがベース。ライニングには防水透湿素材“ゴアテックス メンブレン”，ソールには秀逸なグリップ力を誇るヴィブラム社共同開発の“トラクションカスケード”を採用。各5万2800円(ダナー)

伝
統や確かな技術力をもとにした信頼度の高い製品作りが持ち味の一方で、新たな取り組みにも果敢に挑戦しエボックメイキングなアイテムを生み出してきた歴史も備える。そんな〈フランク ミュラー〉と〈ダナー〉の両者がタッグを組み、メンズスタイルに新風を吹き込むモデルを生み出した。

タフな作りが魅力の“ダナーフィールド”は、休日にフィールドワークを楽しむアウトドアマンはもちろん、武骨でたくましいアメカジスタイルを好む服好きた

ちに長年愛される逸品。そんな本格スペックブーツに、文字盤を踊るように飾る〈フランク ミュラー〉の象徴を描くことで、ひと目見たら忘れられないユニークなスタイルに仕上がった。甲革やサイドパネルをビザン数字で飾ってエレガントな薰りを漂わせつつ、ハト目まわりや履き口はエキゾチックレザー調のエンボスで仕上げて精悍かつワイルドなエッセンスを加えた。質実剛健なブーツに天真爛漫なデザインを乗せた、芸術性に富んだ1足で、秋冬コーデの格上げを狙いたい。

FRANCK MULLER × DANNER

〈フランク ミュラー〉×〈ダナー〉のコラボレーション第2弾。

アイコニックなアッパーで
足元にアクセントを加える。

一般的にブーツは、あらゆるフィールドに対応する堅牢な作りを身上とし、控えめなデザインが多い。そんな中、個性を少し打ち出すなら〈フランク ミュラー〉とコラボした〈ダナー〉の最新モデルはどうだろう。誰もが目を見張るユニークデザインが、秋冬スタイルを格上げする、いいアクセントとなるはず。

写真=正重智生 構成&文=八木悠太 photo : Tomoo Syoju(BOIL) composition&text : Yuta Yagi

VEILANCE

都市に生きる大人に似合う〈ヴェイランス〉。

美しさに磨きをかけた 高機能アーバンウエア。

デザイン、クラフトマンシップ、パフォーマンス。すべての面にこだわり、
都市生活に最適化した先進的なアーバンウエアを提案する〈ヴェイランス〉。
ミニマルな作りの中に、厳しい山岳環境が生み出した先進技術を詰め込んだ
ハイエンドなアイテムは、端正なスタイルを目指す大人にこそお読み向ください。

写真=今江寿之 スタイリング=田川匠 ヘア&メイク=勝 健太郎 構成&文=八木悠太
photo : Toshiyuki Imae styling : Takumi Tagawa(remix)
hair&make-up : Kentaro Katsu(SIGNO) Composition&text : Yuta Yagi



COLOR
VARIATION



都会的なソリッドデザインに
万全のテクノロジーを搭載。

表地に軽量さと丈夫さを誇る“バーテックス ダイヤモンドフューズ”を用いた1着は、動きを妨げない立体裁断のおかげで着心地も軽やか。1000fpのグースダウンと、湿気に強い“ブリマロフト シルバー”をそれぞれの特性を発揮できる適切な位置へと配置。段違いの保温力とすっきりシルエットを両得しました。ダウンジャケット各13万2000円、パンツ5万9400円(以上ヴェイランス／アークテリクス カスタマーサポートセンター)、その他はスタイリスト私物



右：都市で働く男の基本服、セットアップは耐久撥水加工を施したソフトシェル製で、着心地はリラックス。シルエットの妙もあいまって、着る姿の印象は極めですっきり。ジャケット13万2000円、ニット5万9400円、パンツ10万1200円(以上ヴェイランス／アークテリクス カスタマーサポートセンター)、シューズ9万6800円(パラブーツ／パラブーツ青山店) 左：ボリュームを抑えた端正なシルエットが魅力のボンバージャケット。生地はリサイクル素材を活用しながら耐摩耗や通気性に優れる“フォーティアス1.0”、また中綿はダウンを上まわる機能性を備える“プリマロフト”を採用。ブルゾン10万1200円、ボロシャツ4万2900円、パンツ6万8200円(以上ヴェイランス／アークテリクス カスタマーサポートセンター)

ニマルで洗練された印象のアイテムを数多く揃える〈ヴェイランス〉。都会に馴染む端正なスタイルが人気のブランドは服としてのスペックも優秀で、特に秋冬を快適に過ごせる高い機能性を備えている。そのベースとなっているのが、カナダ発の本格アウトドアブランド〈アークテリクス〉だ。過酷なフィールドでの経験をもとに生まれた高い機能性を受け継ぎつつ、タウンユースしやすいシンプルデザインに仕上げられているのが特

徴だ。秋冬の新作は、ダウンジャケットや中綿ブルゾンといった一般的にはボリュームが出てしまうアウターも、高機能素材を活用することでシルエットを抑えた仕立てに。またビジネスの場や上品なスタイルに最適なセットアップは、アウトドアウエアにも用いられるソフトシェルを活用し、コンフォートながら型崩れのない凜としたスタイルに。どのアイテムもシーンを問わず高いパフォーマンスを発揮し、都市で暮らす人々の毎日をより豊かにしてくれる。

1

969年に開業した〈玉川高島屋 S.C.〉は、百貨店のみならず、食、雑貨、ファッショなど、高島屋と約340の専門店が集う本格的な郊外型ショッピングセンターの先駆け。日常を上質にするヒントを与えてく

れるお店が軒を連ねるこのスポットで、近年さらに充実度を増しているカフェは、大きな魅力のひとつでもある。昭和のクラシカルな雰囲気が堪能できる老舗から、オリジナリティあふれるスパイスの効いたカレーがやみつきになる人気店、サイ

フォンで淹れる本格的なコーヒーが楽しめるお店など、そのスタイルやテイストは様々。ショッピングの合間にふらっと立ち寄るもよし、時間に余裕があるならハシゴするもよし。自分なりのカフェの楽しみ方をアレンジしてみては？



OXYMORON

[オクシモロン]

**必ずリピートしたくなる
カレーとスイーツが充実**

オリジナリティあふれるカレーとどこか懐かしい味わいのスイーツ、丁寧に淹れたコーヒー、そしてホッと落ちく空間が魅力の人気店。お店の味が自宅で再現できるレトルトカレーやスイーツのテイクアウトも可能。なお、カリーの提供は11:00~。

本館3F ☎03-6805-7331
⑩10:00~20:00(18:30LO)、席数48席(うちテラス12席)

玉川高島屋S.C.

⑩東京都世田谷区玉川3-17-1
⑩10:00~20:00
☎03-3709-2222



WOODBERRY COFFEE

[ウッドベリーコーヒー]

生産者の顔が見える豆から作る最高の一杯

9/23(火)に直営9店舗めとしてオープンしたスペシャリティコーヒー店。“最高の一杯”を生み出す所以は、生産者とのダイレクトトレードや、熟練の焙煎士による豆の徹底管理など、強いこだわりにあります。ビーガンやオーガニックの食事メニューも豊富だ。

南館1F ☎03-6447-9218(用賀店)
⑩9:00~20:00(フード19:00LO、ドリンク19:30LO) 席数40席

TAMAGAWA TAKASHIMAYA S.C.

名店からニューオープンの話題店まで。

**その日の気分で色々選べる、
〈玉川高島屋S.C.〉はカフェ天国。**

行きつけのカフェでまたりするのもいいけれど、〈玉川高島屋S.C.〉なら、その日の気分に合う新たなカフェに出会える。今まで知らなかったコーヒーやスイーツを味わえば、ありふれたブレイクタイムも特別な体験となる。新旧の名店が立ち並ぶ“カフェ天国”で、いつもより気分が上がるスポットを見つけてみては？

文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子 text: Shigeo Hasegawa composition: Keiko Oshima



本館4F ☎03-3709-3111(代)
⑨10:00~20:00(19:30LO)、
席数50席

Papas CAFÉ [パパスカフェ]



まるでパリにトリップしたような憩いの空間

デザイナーズカフェの草分けであり、パリの下町を想起させる木の温もりを生かした店内は、いつ行ってもメロウな時間が流れている。モダンなスイーツに加えて、絶品のシナモントーストやサンドイッチは、しっかり食べたいときも十分お腹を満たしてくれる。



本館1F ☎03-3708-5038
⑨10:00~21:00
(フード20:00LO、ドリンク20:30LO)、
席数64席(うちテラス28席)

Café Fouquet's [カフェフーケ]



地元で長年愛され続ける大人好みのカフェ

一滴一滴抽出したネルドリップコーヒーを、手立てにこだわって提供してくれる老舗。二子玉川で30年以上愛される空間は、アンティークの什器にあふれた特別な場所だ。季節の移ろいが感じられる食事をゆっくり味わうなら、中庭が眺められるテラス席がおすすめ。



変わらず受け継がれる レトロモダンな世界観

創業から約90年を数える名店は、足を踏み入れた途端、レトロモダンな世界に没入できる。注文後にネルドリップで淹れる“アンティークブレンドコーヒー”と、エクレアやアップルパイなどの自家製スイーツは、それを目当てに足繁く通う人もいるほどの人気メニューだ。

南館5F ☎03-3707-3880
⑨10:00~20:00(19:30LO)、席数25席



本館2F ☎03-3709-3375
⑨10:00~20:00
(19:30LO)、
席数62席

COFFEE MIKI

[コーヒーミキ]

開放感のある空間でゆったり“大人時間”を。

オールドビーンズを使い、注文後に一杯ずつサイフォンで淹れるコーヒーは、長年通うファンも多い。吹き抜けに面した店内は開放感も満点で、お買い物の途中に立ち寄れば、コーヒーの香りに身も心も包まれ、ゆったりとした“大人時間”を満喫できる。

1 BRUNELLO CUCINELLI

[ブルネロ クチネリ]

2人に寄り添う温かみのあるラグジュアリー アイテムを。

相反するテイストや素材を自由にミックスし、深みある色彩と軽やかなテイラーリングにより新たなスタイルを再発見するコレクション。上質素材と職人技術が融合する洗練されたレディスアイテムともマッチする。

上右：シーアイランドコットンの細歎コードュロイ製ジャケット。クラシックなラベルにモダンなシルエットとシーズナルカラーのアマランthusで新鮮に。74万2500円。上左：チェック柄のジャケット。パッチポケット&メタリックボタン付き、素材はシルク、ウールとカシミヤフランネル。86万9000円。下右：レディースのシグネチャーバッグ“BC Duo”ミニの新作。ブランドのアイコニックなディテール“モニーレ”（極小ボールチェーン）を全面に配して華やかに。W25×H14×D10cm。96万8000円。下左：右のバッグのバリエーション。カーフスキンにメタリックの特殊加工を施した。W25×H14×D10cm。40万8100円。（以上フルネロ クチネリ／ブルネロ クチネリ ジャパン）



右：“ベルエポック・リール”コレクション。ホワイトゴールド×ダイヤモンドのピアス74万3600円、中右：“ベルエポック・リール”コレクション。イエローゴールド×ダイヤモンドのリング71万2800円、中：“ベルエポック・リール”コレクション。ホワイトゴールド×ダイヤモンドのリング72万9300円、中左：“ベルエポック”。ピンクゴールド×ダイヤモンドのネックレス87万7800円、左：“ベルエポック”。ホワイトゴールド×ダイヤモンドのネックレス87万7800円。（以上ダミアーニ 銀座タワー）



年末のひとときを格別な時間に。 ふたりの時間を彩る大人のための上質アイテム。

一年をともに歩んだパートナーと迎える年末を、より充実させるのはラグジュアリーな逸品。洗練されたアイテムが、特別な空気をまとわせ、2人の時間を格別なものへと導いてくれる。それは記憶に残る「2人の節目」を輝かせるための選択とも言える。静かな余韻とともに訪れるそのひとときこそ、最高の贅沢だ。

構成&文=大嶋慧子 composition&text: Keiko Oshima

2 DAMIANI

[ダミアーニ]

華やかに輝く“ベルエポック”は時代を超えて愛される名品ジュエリー。

映画黄金期である“ベルエポック時代”からインスピレーションを得たコレクション。アイコンである二重構造のクロスモチーフは、立体的で奥行きのある輝きを放つ。まさに時代を超えて輝きを放つアイコンジュエリーだ。





左上：メゾンの伝統とノウハウから生まれた独自のファブリック“ペコラ・ネラ ウール”を使ったフェルト製のメンズハット。染色を施さない天然のカラー。15万9500円、右：40年にわたるカーフレザーの処理と加工の専門知識が生きた“ラウンデッド・レザー”と“ペコラ・ネラ ウール”的バッグ。ふくらとした風合いで心地よい手触り。70万9500円、左下：こちらも“ペコラ・ネラ ウール”を使用した天然カラーのメンズニーカー。17万2700円(以上ロロ・ピアーナ／ロロ・ピアーナ ジャパン)



4 LORO PIANA [ロロ・ピアーナ]

デザインと実用性を兼ね備えたラグジュアリーな小物たち。

素材の産地を巡り、馬術の世界からインスピレーションを得た2025AWのロロ・ピアーナ。そんな機能的でエレガントなウェアに似合う、暖かなハットや履き心地のよいスニーカーなど、最高品質の素材を使って展開。

上：“ボムボムドット”ネックレス。表18Kローズゴールド×ダイヤモンド、裏ターコイズ×18Kローズゴールド。57万2000円、左：“ボムボムドット”リング。表18Kローズゴールド×ダイヤモンド、裏ターコイズ×18Kローズゴールド。75万9000円、右：“ボムボムドット”イヤリング。18Kローズゴールド×ダイヤモンド。55万円(以上ボメラート／ボメラート クライアントサービス)



5 BALENCIAGA [バレンシアガ]

アイコニックな名品バッグをパートナーとシェアしてみよう。

独自の世界観を持つ、前衛的でモードなデザインが広く愛されている。またアイコニックな名品“ル・シティ バッグ”はユニセックスで持てるサイズやデザインも多いので、これを機に是非手に入れてパートナーとシェアを。



Urban GOLF STYLE*

Vol.15

プレイの質を上げるリュクスな快適アウター

朝晩が少し肌寒く感じるようになったら、便利なアウターの出番。スwingのしやすいベストや、リバーシブルといった汎用性の高いデザインがその代表格だ。しかもコースで気持ちに余裕をもたらすリュクスな素材感を備えた1着なら、もう準備は万全。気分はもちろんのこと、プレイの質も自ずと上がるるのは間違いない。

写真=中川真人 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵
文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子

photo : Makoto Nakagawa (magNese) styling : Kan Nakagawara (CanN)
hair&make-up : Megumi Matsumoto text : Mitsuru Shibata
text : Shigeo Hasegawa composition : Keiko Oshima

1

RLX
[RLX]

**ポロシャツに羽織る筆頭は
スwingを干渉しないベスト**

肌寒い日にさらりと羽織って便利なアウターといえば、ジップフロントのベストが鉄板。しかも通気性がよく、吸水速乾力も備えたダブルニットボディなら心強い。伸縮性のあるバウンドアームホールは、スwing時もノンストレスゆえに、ヘビロテは必至だ。

ベスト3万1900円、中に着たポロシャツ2万7500円、パンツ3万1900円(以上アール エル エックス／ラルフ ローレン)、キャディバッグ2万5300円、クラブ10万7800円～(以上タイトリスト／アクシネット ジャパン インク)、その他はスタイルストラスト私物



2

EA7 EMPORIO ARMANI

[EA7 エンポリオ アルマーニ]

コースで視線を集める こなれリバーシブル

もことしたテディ風素材と、チェックプリントをあしらったナイロン素材が楽しめるリバーシブルベスト。王道のワントーンコーデに取り入れても、素材感や柄で一味違うアクセントをもたらす。あくまでさりげなくも、フェアウェイの視線を集めまるにキラーアイテムだ。

ベスト6万500円、中に着たポロシャツ2万6400円、パンツ2万9700円(以上EA7 エンポリオ アルマーニ／ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、クラブ10万7800円～(タイリスト／アクシネット ジャパン インク)、その他はスタイリスト私物



3

BRUNELLO CUCINELLI

[ブルネロ クチネリ]

上品さとスポーティな エッセンスを1着で両得

カシミヤ混紡生地とナイロンをボンディングで仕上げたリバーシブルジャケットは、ラグジュアリーかつスポーティな逸品。防風性、防水性を備えた保護フィルムも内蔵しているため、ちょっとした悪天候でも安心感が高い。クリーンなカラーパレットが一際上品だ。

ブルゾン 78万9800円、ポロシャツ 15万5100円、パンツ 22万6600円、キャップ 9万6800円(以上ブルネロ クチネリ／ブルネロ クチネリ ジャパン)、クラブ 10万7800円～(タイリスト／アクシネット ジャパン インク)、その他はスタイリスト私物

reversible



NewsPicks Collaboration Column

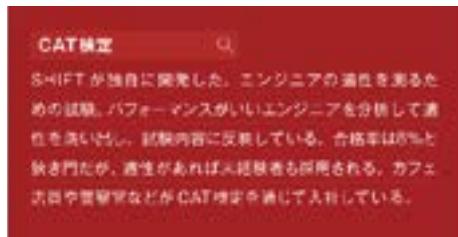
ECOMONY BEYOND*

02 ビジネスII思考のアービトラージ

Q.単価が高いコンサルから事業を始めたがる人が多そうです。

それではすごくつまらない。ビジネスは「思考のアービトラージ」です。どういう考え方でどこから始めるか。他とどう違った角度でマーケティングするか。事業が成功するかどうかは、視点の差や情熱で決まります。重要なのは「ゴールから逆算する」こと。小学生の時、迷路を解く知能テストでその重要性に気が付きました。始まってすぐ、ゴールからスタートまでたどったんです。そうすればただの一筆書きなので必ず成功します。

ソフトウェア開発やDXも一緒で、上流から始めたらうまくいきません。工程の最後にあるテストから逆算するから全体の仕事を手掛けられるんです。「上流だからコンサルから事業を始める」といった浅い思考で事業を始める人が多い。僕はいつも将棋で言う20手30手先ぐらいまで考えてから始めます。よく意思決定が速いと言われますが、ずっと先の先を考えているから悩まないんです。



03 株価を上げる必須条件

Q.現在の時価総額は4200億円ですが、上場時は30億円でした。東京証券取引所は時価総額が小さすぎる小粒上場を問題視しています。

上場時のバリエーションは80億ぐらいだと計算していました。でも主幹事証券が機関投資家に株を買ってもらうために公募価格を抑えたんです。それでケンカして、最近和解するまでの証券会社にはずっと出入り禁止でした。「ちょっと儲かったから上場します」という会社が多いけれど、それって一芸芸人ですよね。上場する目的はあくまで資金調達です。成長意欲がなくて資金調達しないんだったら上場しないほうがいいでしょう。

Q.小粒上場すると、機関投資家から投資してもらえない、時価総額は大きくならない、と言われています。

やりようはあります。大事なのは3ヵ年計画を出すこと。投資家は人にお金を預ける(投資する)とそれ以降はコントロールできません。絶対伸びるという確信が必要なので、投資先の社長が優秀かどうかを注意深く見ているんです。だからこそ経営計画を出して、毎年実績を作らないといけない。みんな、どこと資本業務提携したとか、M&Aをしたとかリースだけ出すけれど、業績には関係ないから株価はビクリとも反応しません。投資家は構造が知りたい。だから僕は3ヵ年計画で、こういう目

株価140倍、異次元の成長を支える社長の「思考法」。

日本のソーシャル型オンライン経済メディアの先駆けであるNewsPicks。国内外の有益な経済情報を扱うメディアが『Urban Safari』で特別連載。その第4回のテーマは「株価を140倍にした社長の思考法」について。異次元のスピードでSHIFTを成長させてきた丹下大社長の頭の中を、インタビューを通じて覗いてみた。

*本記事に記載の売上高・時価総額等の数値は、2025年7月取材時点の公開情報に基づいています。

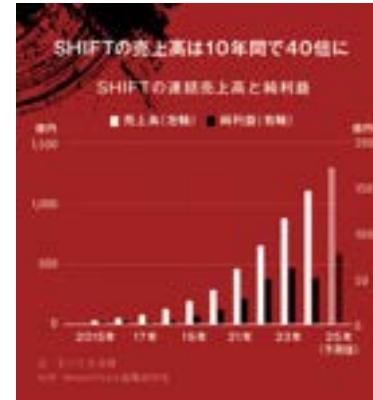
文=濱田尚子 構成=堀川博之
text: Naoko Hamada composition: Hiroyuki Horikawa

01 常に「ワクワク」を思い描く

Q.売上高が20億円程度だった10年前から1000億円企業になるためのプランを練っていたそうですね。大きな「未来像」を常に描くのはなぜですか。

僕は天才ではないので、何も考えずに過ごしたら5年後、10年後に大したことはできていません。今年、51歳になりますが、60歳を超えたときに単なるおっさんで終わるのは耐え難い。だから、時間をとても大切にしているし、未来の姿を先に決めておかないと嫌なんです。やる気を出すために常に「実現したらワクワクする」状態を思い描く。自己暗示ですね。サラリーマンになる時も「年収1000万円もらって、ボルシェ乗って、高級マンションに住んでる」という未来を思い描いて就職先を選びました。結婚した時も奥さんには「三十何歳にならうこういう生活してるよ」と伝えました。最初に手掛けたのは、ソフトウェアの品質を保証する「テスト事業」でした。創業当時は細々とコンサル事業を手掛けていました。その時に請け負った仕事でテストという分野を見つけたんです。

現場の暗黙知を標準化してツールに落とし込んで効率化する、というのが業務コンサルタントの仕事。でもテストについては1ヵ月くらいヒアリングしても暗黙知がわからなかった。それでやっと、ノウハウがないことに気が付いたんです。キターッ！って思いました。ノウハウがない分野を徹底的に仕組み化すれば、アービトラージ（裁定取引）で勝てるに決まっているからです。だから、テストのためのスキル検定とオペレーションツール、ノウハウ自分で作りました。いつかは本格的にコンサルもやりたいと思っていたけれど、当時から競合が多かった。だからめちゃくちゃ稼げる「テスト事業」から始めたんです。



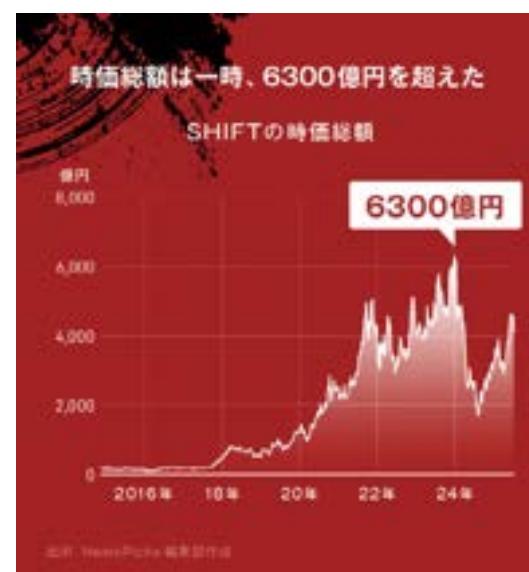
標のためにこういうふうにマネジメントをして結果を出します、と説明しました。同時にきちんとリスクも開示していました。IRのミーティングも年間400件やっています。株価が伸びていない企業は手を尽くしていないんじゃないですか。

Q.とはいっても上場後3年ほどは株価が伸び悩みましたね。

業績を着実に伸ばしていたのに時価総額は増えず、ずっとストレスでした。ただ、2017年頃に転機が訪れます。上場した時に手掛けていたウェブやモバイル企業向けのライトなテストは、市場が1000億~2000億円くらいしかありません。より大きく成長するために、金融や物流、製造業など大企業の基幹システムをターゲットにしました。でも、そこを攻めるには業務知識が必要。だから2017年の春頃から、億円単位の紹介料を支払って年収1000万以上の人の20名以上雇ったんです。ちなみに、当時の平均年収は500万くらいで、執行役員を超える報酬を支払いました。テストの能力がある会社が、業務知識を資産に加えて5兆円のマーケットで勝負すると決めたわけです。

当時のIRでは「景色が見えました。マーケットのとり方がわかったので、アクセルを踏みます」とはっきり言ったのを覚えています。採用コストの増加が原因で下方修正したら、株価が一気に下がりました。でもその採用が数十億円の売り上げにつながったんで

す。当時の売上高は50億円ほどなのでかなりのインパクトでした。その結果、半年で時価総額は800億ぐらいまで増えました。マーケットに合わせてバランスシートを整えた時にPLが作られる。そういう構造を投資家に示していくといけないといけないです。



NewsPicks Collaboration Column



05 仕組み化でしつかりサポートする

Q.人事や採用、営業、M&Aまで、「仕組み化」にものすごくこだわりがありますね。

異常 常な執着心があつて合理的ではないものが気になるんです。CMOSセンサーが異常なんです。この会議室にある花ですら気になります。要は仕組み化してしっかりサボりたいんです。ほかにもたくさんやることがあるから、何回も同じことを考えるのが嫌なんです。仕組み化についてはよく、「SHIFTだからできる」と言われます。でも、僕は適切に選んでいるんです。例えば、ある会社の人には「エンジニアの単価で給料が決められるから楽ですね」って言われました。その会社はタレンティーブな業務内容なので、SHIFTの人事は合わないということらしいです。でも僕だったらその会社に合った人事のシステムを考えます。天才が5億円くらい給料を稼げる仕組みにしますね。給料の構造を変えるだけです。

SHIFT 代表取締役社長
丹下 大

1974年広島県生まれ。2000年京都大学大学院工学研究科機械物理工学修了。デジタルエンジニアリングのインクス（現SOLIZE）入社。2005年9月にSHIFTを設立し、2014年に東証マザーズ上場を果たす。

CHECK

NewsPicksは経済・ビジネスニュースを中心に扱うオンラインメディア。独自のニュースに加え、専門家や有識者による解説が特徴。ニュース配信にとどまらず、専門界の視点、議論の場を提供している。



04 M&Aも入社も同じ

Q.SHIFTは採用や育成にも力を入れていますが、これも資産を重視しているからですか。

採用 用も育成も、もっと言えばM&Aもそうです。M&Aした会社が幸せじゃないと、次につながりません。だから、M&Aも採用と同じです。M&AでSHIFTグループになぜ入るかというと、採用と営業が得意だからです。営業が強くなれば仕事が増える、それに合わせて人も採用する必要がある。SHIFTは日本一採用をしているのでそこもサポートできる。M&Aができる構造（資産）ができているんです。ほかの会社が同じように明日からマネしようとしてもできません。

Q.順調に成長を続けてきましたが、前期(2024年8月期)は7期ぶりの最終減益になりました。株価も下落しました。

第4四半期に、エンジニアの稼働率が低下したのが原因です。エンジニアの採用に合わせた営業ができていませんでした。そこから1年ほどかけてテコ入れしてきました。具体的には、まず170人ほどの営業部員全員にレコーダーを渡して商談を録音。そうすると、やりとりやお客様のニーズが全部集まってきた。それを独自に開発したAIに読み込ませて、AIが顧客に合ったサービスを提案できる仕組みを作りました。営業の最適な動き方を見える化したこと、KPIの設定もより綿密かつ効果的にできるようになったのです。このKPIの設計ができると、人間によるマイクロマネジメントがいらなくなります。静かなるAI革命だと思います。

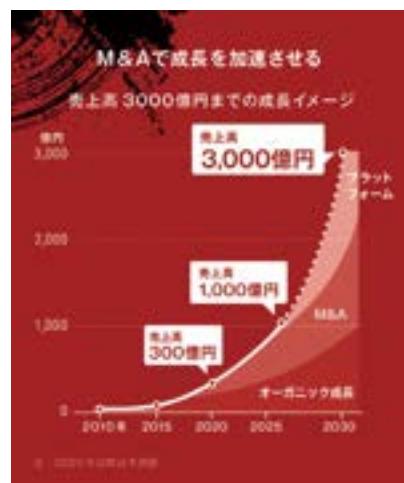
Q.2030年頃に売上高3000億円を目指す経営計画「SHIFT3000」を発表しています。

売上高 上高3000億円は通過点です。まずは大手SIerの売上高の基準である5000億円を超えないといけない。DXのフォックスコンになりたいんです。日本でDXに関する投資をしようとしたら、一番安く、膨大に作れるSHIFTに相談が来る。その相談を断りたい。iPhoneを作るのを断られたら、Appleはフォックスコンの言うことを聞きますよね。そこまでいくと、外注じゃなくて対等なパートナーになります。利益を出して、次の投資ができる、そんな売れるサービスを顧客と一緒に対等な立場で作りたいんです。

Q.規模拡大に対する「執念」を感じます。

「クソデカい会社を作る」のが、一番重要なことです。そうすると影響力が半端なく大きくなってしまって、やりたいことがおのずとできます。世の中をよくしたいんです。めちゃくちゃジャ

イアン的な思考ですが、僕がいいと思うことをやつたら世の中はよくなると思っているから。僕よりも面白い理論を話す人に会ったことがないんです。



06 天井のないマンションを建てる

Q.それだけ成長を追求するのであれば、配当に資金を振り向けることは当分なさそうですね。

マンション リンション投資に例えるとわかりやすいです。例えば、30階建てのマンションに投資します。配当というのはそこから得られる家賃収入の一部を投資家に分配しますよ、という考え方ですよね。でも、僕が建てているのは30階建てのマンションじゃない。天井がないんです。日本をよくするために、やりたいこと、投資したいことがいっぱいあります。もちろん、資金調達コスト(WACC)を超えるROIC(投下資本利益率)が出せるかは見ていきます。テストの近接領域という条件はありますが、投資効率の基準を超えてるのであればやるべきだと思います。上場企業が「PBRが1倍を割れるから株主還元する」というのは寂しいですよね。僕がお金を使ってあげるので、預けてくださいって言いたいくらいです。

Q.最後に、丹下さんが考える社長の役割とはなんですか。

社長 長は会社の象徴なので、元気で明るいことが一番大事。社長が暗い顔をしていると嫌ですよね。お父さんみたいなものなので。大きいビジョンやデカい背中を見せて、どこに行っても社員から見てカッコいいと思われたい。だからすぐ肌ケアも気にしています。





韓国の次世代 エンターテインメントリゾート

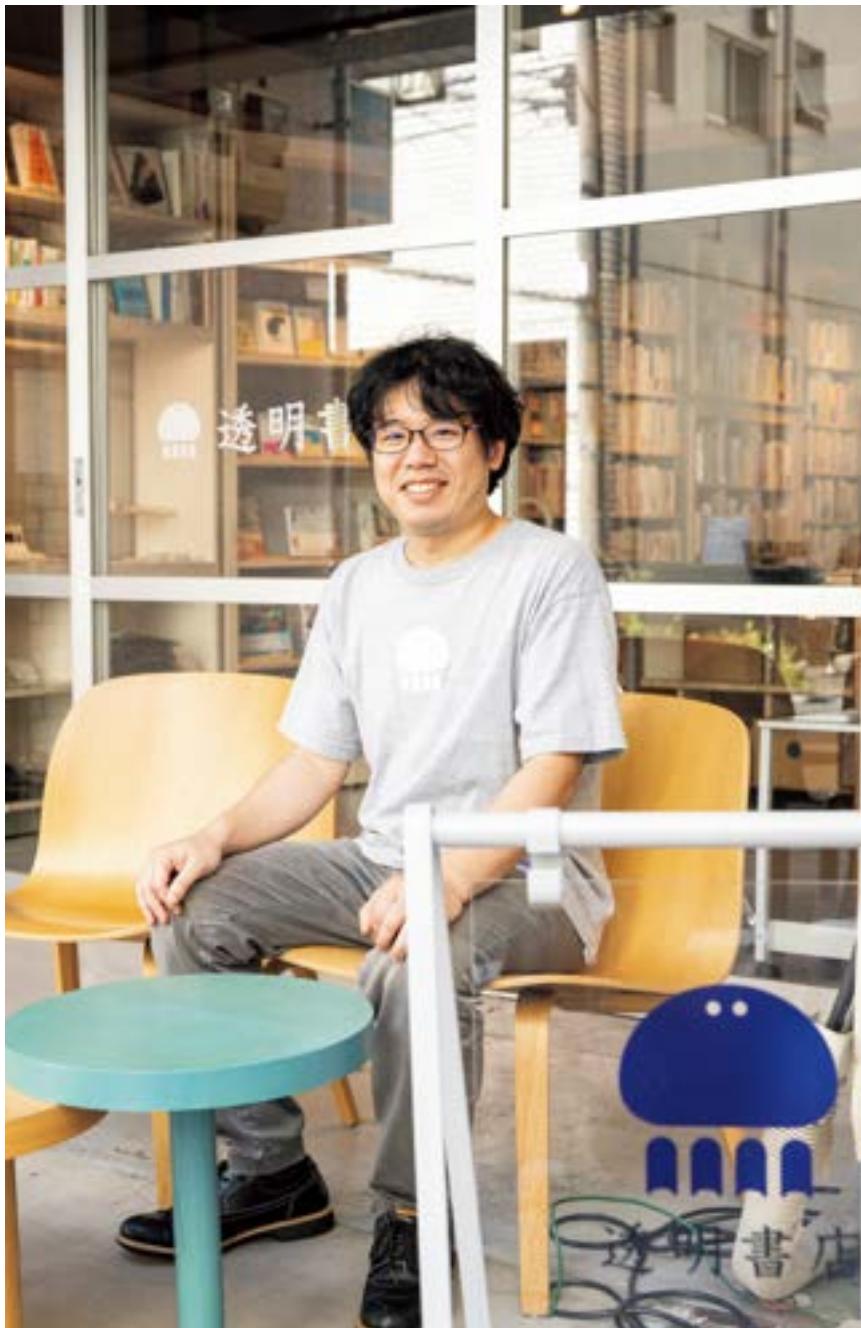
インスパイアエンターテインメントリゾートは、充実した設備と多彩なコンテンツを誇る大型複合施設で、エンターテインメントの新しい形をご提供します。

リゾートの中心には、個性豊かな3つの5つ星ホテルタワーが立ち並び、合計1,275室の客室を完備しています。敷地内には、約15,000人を収容できる韓国初の多目的アリーナ「インスパイアアリーナ」や、1年を通じて自然の陽光を楽しめるガラスドーム型の室内ウォーターパーク「スプラッシュベイ」、韓国最大のホテルボールルームを備えた高級感あふれる宴会場、広大な芝生と多彩なテーマスペースが調和する屋外公園「ディスカバリーパーク」など、多種多様な施設が揃っています。

さらに、長さ150mの超高画質LEDディスプレイにて、圧倒的なメディアアートショーが繰り広げられるデジタルエンターテインメントストリート「オーロラ」や、グルメ、ショッピング、エンターテインメントが一度に楽しめる複合文化空間「インスパイアショッピングモール」もご堪能いただけます。



INSPIRE



書

店とIT企業。真逆のようなふたつの業態が混ざり合ったのが透明書店だ。クラウド会計ソフトなどを自社で開発、展開するフリー株式会社(freee)が書店を手掛けた理由を店長の遠井大輔さんに聞いてみた。

「freeeという会社は個人事業主や中小企業の方々が顧客です。会社のミッションは“スマールビジネスを、世界の主役に。”としており、彼らのビジネスを支援するツールを開発しています。そんなスマールビジネスオーナーの日々の体験をよりリアルに理解しプロダクト改善につなげるため、自分たちでも店舗をはじめることにしました」

書店の経営を選んだのは、独立系書店の面白さのほかに、運営のアナログさも理由のひとつ。「発注にFAXを使うなど、書店経営はまだアナログな部分が多く残っています。それをテクノロジーの力で解決できないか、プロダクトに落とし込めないか」という考え方でスタートしました。もちろん、このプロジェクトに取り組んでいたメンバーに本好きが多かったのも理由ではあります(笑)」

実際にスマールビジネスを自らが手掛けることでの気づきも多い。「新規プロダクトのテストの場として活用することもありますし、トラブルや課

題の解決を社員が考える場になっています。ビジネスの観点はもちろん、日々の売り上げなどの経営状況も初期から公開してきました。“透明”な経営が店舗名にも込められたコンセプトなので。公開したことに対して共感してもらえると、ちょっと嬉しいんですよ」

透明書店の売り上げはギャラリー運営や棚貸しなど、複数を掛け算しているのも特徴のひとつ。「新刊書を1冊ずつ売っていくのが従来の書店経営ですが、小さい店舗でそれだけだと限界があります。その課題を解決し持続可能な経営を行うために、棚を月額制でお貸しして棚主になってもらうことで収益を得たり、書籍刊行記念のイベントを行うなどで、収益を上げる方法を模索しています。2025年の4月からは午前・夜間の無人営業をスタートし24時間営業となりました」

実験と実践の場としての透明書店。もともと棚主だった方が独立し、自身の店舗を開業されたケースも。「三鷹のエルデブックスさんは、もともと棚主さんでした。透明書店をきっかけに、スマールビジネスを実践する人が増えると嬉しいですし、そのためにはなにより“いい本”が揃う魅力的な書店であり続けていきたいです」

進化するブックストア* 透明書店

やれることは全部やる、実験の場としての書店。

本や書店を取り巻く厳しい環境の中、存在感を示す店舗たち。IT企業が自社のプロダクトの実験の場として、スマールビジネスの実践の場として運営している透明書店をピックアップ。ほかとは少し違う立ち位置の書店の“これまでとこれから”を伺った。



A : 新刊書・古書やZINEが並ぶ棚。手前にはTシャツやエコバッグの他に、ギャラリーで展示しているアーティストの作品も販売している。B : 月額制で棚主が自分の好きな本などを販売できるスペース。サイズや場所によって料金は変動する。C : ギャラリースペース。ポップアップや小規模イベントはここで行う。D : 副店長に任命されている、クラゲをモチーフにしたAI。店にある在庫を学習しており、おすすめの書籍を聞くと答えてくれる。実はこれもfreee社の実験のうちの1つ



原則木～月曜の12～19時にスタッフ在店、それ以外の時間帯は無人・セルフレジでの年中無休24時間営業。出勤前・仕事帰りや深夜にふらっと立ち寄る人も多いとのこと。店内カフェスペースでビール(スタッフ在店時のみ)やクラフトコーラも楽しめる



④東京都台東区寿3-13-14 1F
X&Instagram : @tomei_1111

ESTIVANT

軽やかで上品、〈エスティバン〉の新作登場。
大容量で使い勝手を兼ね備えた
大人のためのトートバッグ。

都会的な洗練と実用性を兼ね備えたデザインが魅力の〈エスティバン〉。シンプルで無駄のないデザインは、オンオフを問わず活躍。素材にはオリジナルの軽量なファブリックを用い、見た目の高級感と使いやすさを両立。ビジネスマンのライフスタイルに寄り添うバッグとして、長く愛用できる存在だ。

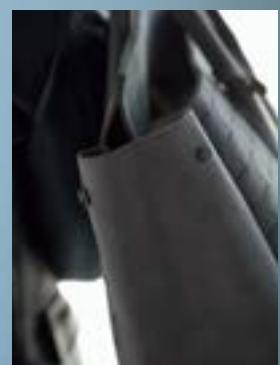
写真=中川真人 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 構成&文=大嶋慧子
photo : Makoto Nakagawa (magNese) styling : Kan Nakagawara (CaNN)
hair&make-up : Megumi Matsumoto composition&text : Keiko Oshima

都 会的でモダンな雰囲気を持ちながらも、様々なビジネスシーンにもマッチすると評判の〈エスティバン〉。その新作は容量の多さに加え、フラップが付くことで中身をしっかりカバーしてくれる安心感のある仕上がりとなっている。素材には高級車のシートにも使われている東レが開発した人工皮革“ウルトラスエード”を使用。手触りのいいリアルスウェードのような重厚感はしっかりとありつつ、耐久性の高いファブリックは日常で気兼ねなく使うことが可能だ。品格あるルックスに加えて、機能面でも優秀。堅すぎずラフすぎない、ちょうどよい存在感はまさに多忙を極めるビジネスマンの相棒にふさわしい逸品といえよう。

バッグW43×H31×D13cm。各7万7000円
(エスティバン)、ジャケット37万4000円(ペルヴェスト／八木通商)、パンツ3万7400円(トラディショナル ウエザーウェア／トラディショナル ウエザーウェア 渋谷店)、その他はスタイリスト私物

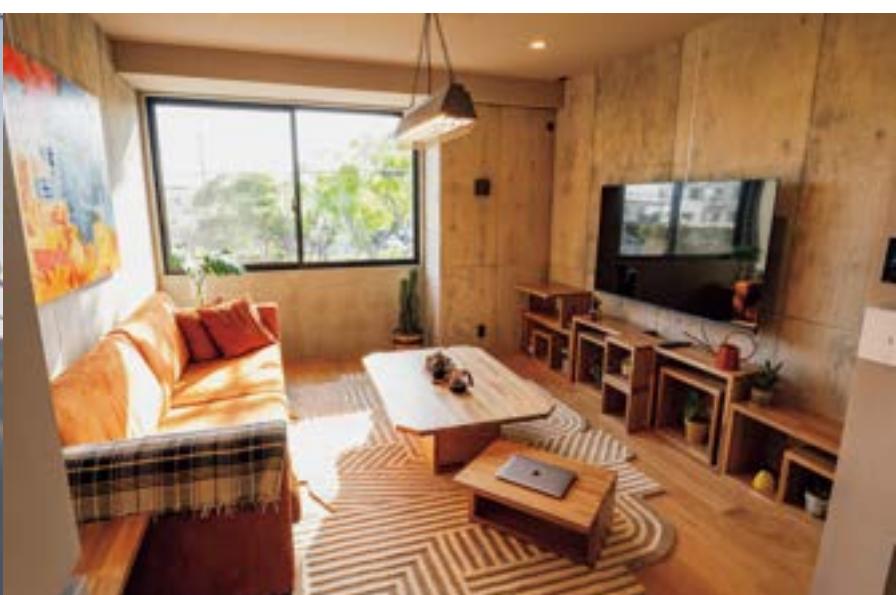


color variation



上：カラーバリエーションのブラック
下右：内部には大型のファスナー付き
のポケットが装備され、書類や小物を
効率的に整理できる 下左：サイドの
スナップボタンでその日によってバッ
グ容量を調整できる

第1弾・完売御礼



第1弾は物件そのものに加えて公園が隣接していることによる、広々とした景観も好評。実は第2弾も近所で施工しており、第1弾と同様に広々とした眺望が手に入る。内観はDOTOWNとSafariがこだわって製作し、前回以上にパワーアップさせる予定

北谷の人気エリアの側で
第2弾の物件が着工。



アラハビーチや北谷サンセットビーチといった海はもちろん、独特のカルチャーを内包した異国情緒にあふれた街も魅力の北谷。観光地としての姿のほかに移住先として注目されているが、実は不動産投資先としても有望で、熱い視線を集めている

DOTOWN HOUSE × Safari

限定3棟の第1弾は即完売。

沖縄・北谷の別荘
第2弾の企画が始動。

今年の春に完成した、SafariとDOTOWNがタッグを組んだ沖縄・北谷の別荘だが、販売をスタートする前から多くの反響をいただき、瞬く間に完売。そこで2026年夏以降の完成を目指に、第2弾のプロジェクトがスタート。第1弾の物件が気になっていた人はもちろん、北谷への移住先やセカンドハウスとしての物件を探している人は、チェックしてほしい。

ぱらり、世界がかわる。



相続ゲーム

エイブリーと億万長者の謎の遺言

ジェニファー・リン・バーンズ 著 代田亜香子 訳
定価2090円(税込)

その遺産は、謎と恋の始まり。

映像化権をAmazon PrimeとSony Picturesが獲得したことでも話題のロマンス・ミステリー超大作、待望の翻訳版が発売！ 女子高生エイブリーは、突如見知らずの大富豪の莫大な遺産相続人に！ 相続条件は、秘密の通路や仕掛けだらけの大豪邸“ホーソーンハウス”で1年間過ごすこと。突然の指名により、陰謀渦巻く一族、魅力的な4人の御曹司たちとの駆け引き、そして大豪邸に隠された謎解きに巻き込まれていく。果たしてエイブリーは真実をつかみ取ることができるのか？

第2巻『ホーソーン家の遺産(仮)』2025年末
第3巻『最後の賭け(仮)』2026年春 順次刊行予定！

ハマる大人が続出!
全世界が熱狂!
ついに日本上陸!
**累計売上
500万部
突破!**

相続ゲーム
特設ページ

昭和な野球がオモロい！

江本孟紀 著 定価1760円(税込)

言いたい放題！ 野球愛 令和のプロ野球界に物申す！

昭和野球が令和のプロ野球を面白くする！ 野球界のご意見番、エモやんこと江本孟紀が「努力と根性の昭和野球の良さと痛快さを再認識すべし」と、レジェンド監督＆選手たちの逸話を交えて熱弁。過保護な現代野球に一石を投じる。

レジェンドたちの
痛快エピソード
満載！



野村克也／長嶋茂雄

王貞治／張本勲／金田正一／門田博光／広岡達朗
森祇晶／掛布雅之／原辰徳／野茂英雄／イチロー 他

チョン・セラン大絶賛！ イム・キョンソン作品邦訳第3弾！

あなたが“そっと呼びたい”名前は何ですか？

年上の彼との関係に悩んでいる30代のスジンは、
年下の男性からの情熱的なアプローチに惹かれていく。
幸福感に満たされながらも、ふと感じる不安や虚無感。
そんな時、心の奥から浮かんでくる名前とは——？

愛することを問う、
揺れ動く女性の心を赤裸々に綴る。
3人の男女が織りなす

「大人の愛」の物語。

そっと呼ぶ名前

イム・キョンソン 著 すんみ 訳
定価1760円(税込)

好評既刊



リスボン日和
十歳の娘と十歳だった私が歩くやさしいまち
ホテル物語
グラフホテルと5つの出来事

イム・キョンソン
特設ページ



全国の書店・インターネット書店でお求めください。

日之出出版公式ストアでもお求めいただけます。 <https://hinode.co.jp/stp>

ぱらりBOOKS

発行／日之出出版 発売／マガジンハウス

ACTIVE WELLNESS*

カラダを鍛え、準備したことが自信に繋がる。

カラダという“器”を整えることで心も整う。〈トータル・ワークアウト〉が提唱している考え方のひとつを、日々のトレーニングを通して体感しているのが俳優の杉本哲太だ。目標のためにカラダを鍛えることが、役者としての大きな自信になっているという。

写真=池村隆司 構成&文=遠藤 広
photo : Takashi Ikemura composition&text : Takumi Endo



Tomo Ikezawa / 池澤 智 × Tetta Sugimoto / 杉本哲太

今

年7月に60歳の誕生日を迎えた、俳優の杉本哲太。その翌月には「還暦を迎える年になにか新しいことを」という思いではじめたSNSでトレーニング姿を披露し、その引き継ぎたったカラダに注目が集まった。実はそのトレーニング歴は長く、2015年から〈トータル・ワークアウト〉に通いはじめ、自らのカラダと向き合ってきた。

池澤 智（以下池澤） トレーニングは11年めですが、どんな思いではじめたのですか？

杉本哲太（以下杉本） 通いはじめたのは、50歳になる年のちょうど節分のとき。ここでカラダを動かしておかないと、もう一生やらないかも知れないって思ったんです（笑）。その当時、ちょうど撮影していた映画の突き飛ばされて倒れるシーンで手の指をケガしてしまいました。そこでカラダの衰えを感じたわけですが、現場に宇梶剛士さんがいらしたので、どこかいいジムをご存知ではないですかと伺ったら、ここを教えてくださったんです。今年の7月に撮影が重なって3週間ほど通えないときがありましたが、それ以外はこの10年間、週2から週5ペースでのパーソナル・トレーニングを欠かしたことはありません。

池澤 10年間の中で、ジムを休んだのはこの7月

がはじめてというのはすごいですね！ 杉本さんはフォームがきれいで、トレーニング自体の技術も非常に高い方ですね。

杉本 フォームや効かせ方をしっかり意識して行う本格的なトレーニングができるようになったのはここに通いはじめてからですが、10年前のあのときに一念発起していなかったら今の僕はなかった。役者という仕事をしていると裸にならなくてはならないこともありますし、時代劇で馬に乗るとなったら年齢に関わらず乗らないわけにはいかない。役者は定年がないけれどカラダが動かなくなると選択肢も可能性も狭まってしまう。だから日々カラダを動かし、鍛えることで準備をしておくことが大事なんだというのは日々、痛感しています。ここでは役柄に応じたトレーニングメニューを提案してもらえるのもありがたいです。

池澤 トレーニングをアレンジできるのは杉本さんのカラダのベースが整っているから。10年の積み重ねがあるので、必要な項目をプラスできるんです。ところで杉本さんはトレーニングによってカラダを鍛えることで、精神面でなにか影響を感じたりすることはありますか？

杉本 その時々の目標を設定して、そこに向かって肉体的なコンディションを整えていくと演じる

役に自然と入っていく感じ、その過程でメンタルも整う感覚があります。いざ役と向き合うときに「俺、なにも準備をしてきてないや」という状態ではなく、その前にカラダを絞るなり、鍛えるなりしてきた過程があるときに得られる自信はすごいですね。信頼できるパーソナル・トレーナーが僕に真剣に向き合ってくれて、テンションをあげてくれればなおさらです。今後に関してはピラティスなど、カラダのしなやかさを増すトレーニングにも興味があります。撮影する際に監督からカラダについてなにか求められたりすることはありませんが、役と向き合うための準備はこれからも欠かさないですね。



Check!

運動中の水分補給に理想的な機能性飲用水。

食事を通して体内に入ったエネルギーを中性脂肪として蓄積する白色脂肪細胞分解経路に働きかけ、良質な褐色脂肪細胞（脂肪を熱に変換してエネルギーを消費する細胞）へのスマースな変換を促す“フィットネスウォーター ジェネレーションII”。500ml・200円（トータル・ワークアウト）

SPONSOR OFFICIEL



INSPIRED BY
F1® THE MOVIE

ONLY IN CINEMAS



IMAX® is a registered trademark of IMAX Corporation.

Soundtrack Available on Atlantic Records



パイロット・ウォッチ・クロノグラフ 41 “APXGP”, Ref. IW388116

堅牢なステンレススティール製ケースを備えたこのタイムピースは、2025年夏の大ヒット映画のスピードとアクションをあなたの腕に再現します。「パイロット・ウォッチ・クロノグラフ 41 “APXGP”」は、映画『F1® / エフワン』に登場する架空のチーム、APXGPとのパートナーシップに捧げられたモデル。チームのカラーであるブラック、ゴールド、ホワイトを採用しており、ケース内部ではIWC自社製キャリバー69385が鼓動を刻みます。EasX-CHANGE® システムを採用し、ピットレーンでメカニックがタイヤを交換するかのように素早く、黒いラバー・ストラップを付け替えることが可能です。

IWC. Engineered.

IWC

SCHAFFHAUSEN